政宗さまと景綱くん
まさむね
かげつな
重野なおき
Shigeno Naoki
4
Masamune sama &
Kagetsuna kun
Published by
Leed Publishing Co.,Ltd

SPコミックス

重野なおき

Shigeno Naoki

帽子のサイズは
大きめ63センチ

Cover Design:Kohei Nawata Design Office

SPコミックス

Shigeno Naoki
Masamune sama & Kagetsuna kun

C O N T E N T S

天正十七年(1589年)
六月五日——

59 風と共に開戦

つゆ知らず

いろいろできない

平常運転

矛盾

皆 配置につけ!!
おー

いいか!! 戦はまだまだ続くんだからな
こんな所で…死ぬんじゃねーぞ!!

死んだらぶっ殺すぞ!!
どうやって?

それは無理

大内殿!! この戦あなたの力が必要です

過去に伊達家を裏切った事は忘れます
協力して芦名を倒しましょう!!

片倉…

戦が終わった後は思い出しますけどね
きれいさっぱり水に流せー!!

「かかれえー!!」

変なの覚えた

ガン見した

来るか芦名軍!!
昨日の友は今日の敵!!
元の仲間とて容赦はせぬぞ…
猪苗代 盛国
ん?…

ドドドドドド

じいっ
まさか…
向こうの先陣は…

いたたた 砂が目に!!
かっぴらきすぎですよ

その他大勢

芦名家一の猛将
富田隆実!!

ドドドドド
「昨日の友は今日の敵」
…その通りだ

だがそんな事は考える必要すらない!!
なぜなら…

ワシは猪苗代盛国を友と思った事はないからだ!!
なんか悲しい事言われたー!!

猛将と追い風

相手にとって
不足無しだ!!
迎え撃てー!!

向かい風で思うように
矢が射れません!!
目すら
開けられない…
な…

この風に乗せて
放てーー!!

ドドドドド
うわあああああ

想定外

第一陣 猪苗代隊が
蹴散らされました!!
ざわっ

殿はこの状況でも
顔色ひとつ変えない!!
すごい…

焦る事は無い
第二陣には
猛将・原田宗時を
置いてある!!

原田隊も
破られましたー!!
どおっ
一気に
変わったー!!

摺上原を猛進する
芦名軍・**富田隆実**――

おおおおおお

待ち受けるは第三陣
片倉景綱!!

60 はたらく参謀

自業自得

戦場の外

いのちだいじに

猪苗代盛国は積極的に
戦わなかったといわれる

決断

敵にとっては向かい風!!
矢も満足に放てまい!!
いけえぇぇぇ

うわああああ

だめだ…
退くぞ!!

退く…?
ざわっ…
すぐ後ろに
政宗様が
いるのに…?

作戦

そうだ!!
いいから退けー!!
そんな…
負け戦か…

ふははは
他愛も無い!!
このまま
政宗本陣まで
突き進めー

矢も満足に放てぬ
この風だ…

しかし
鉄砲なら
放てる

熟練の外見

「やりかねない」

加勢

富田は鉄砲隊を蹴散らし
太郎丸掃部を討ち取る
ぬがあああ

次はおまえだ
片倉景綱…
ん?
ドドドドドド…

ズガガガ

何をしている
片倉…
さっさと
この化け物を
退治するぞ!!

直せ!!

大内定綱…
どの!!
勘違いするな!!
自分のためだ!!

もう嫌なのだ
逃げる事も!!
負ける事も!!
そして
裏切る事も!!

ワシは伊達家の
家臣として
この戦に勝ち…
生まれ変わる!!

私に皮肉を
言われ続ける事は
受け入れると!!
それも滅茶苦茶
嫌だけどな!!

綻び

第二陣の佐瀬河内守は
主君への不信感から
兵を動かさなかったと
いわれる

反撃の風

風向きが…

変わってしまった…

61 東風に吹かれて

誰だよ

長かった…

うまかったのに

奇策

この戦で景綱は
えちょ
マジ…？
見物している農民に向かって

鉄砲を撃たせた
ダダダダダ
えええええ？

逃げた農民が…

芦名軍の方へ…
ドドドドドド…

前代未聞の

ほえー芦名も粘るのう
いいぞー伊達なんぞに負けるなー

鉄砲隊!! あの農民のいる丘を狙え!!
ジャキ
ジャキーン
片倉ー!! こんな時に冗談やめい!!

冗談ではありません
本気です
え…

カチンときてた

手段は選ばず

先を見た手

おおおお
一気に優勢になった…

ここだ!! ここであの場所に移動できる隊は…

世瀬!!
猪苗代盛国へ伝令に走れ
はっ!!

芦名軍の後ろに回り込み日橋川の橋を壊せと…

泣ける…

わかった!! 橋を壊せばよいのだな?

それならできる!! なぜなら…

我が長男・盛胤はワシを嫌い芦名側についた…

はははは
橋も家族も壊すのは得意なのだー
悲しい事言ってる!!

急ぐんですけど!!

近付く終幕

この時猪苗代盛国あるいは黒脛巾組の手により

芦名軍は退路を断たれる

おおー

今こそ総攻撃だ!!
畳み掛けろ――――!!

62 別れの摺上原

よぎった大将

伸ばせ!!

たくさんあるなあ…

勇気だけ

退路を断たれたなら前に出て勝つ!!
我ら本隊の兵 四百で政宗を討つぞ!!

ええっ
殿!! それは無謀です!!

無謀でも何でもワシは行くぞ!!

この足の震えが止まったら!!
やっぱり無謀ではー?

意地も通じず

芦名義広は政宗の本陣を狙うが

多勢に無勢 兵たちは次々と討たれていった

ワシも… ここまでか…
殿!!

この金上が護ります
城まで退却するのです!!

苦汁の決断

当主になってからの長さなど関係ありません…
あなたは芦名の当主!!絶対に犬死にはさせません!!

退却する…
陣貝を…吹け!!

さすが名将

もう一本小さな橋があります!!それを渡るのです!!
馬鹿な!!ここまできておめおめ退却など…

ビュビュッ

大将なら戦を投げてはなりませぬ!!最後まで責任を持つのです!!

矢!!うるさい!!
ぱしっ
金上強ぇー!!

大混乱

ブオオオォ
ブオオオオ
芦名軍は退却を始めたぞ!! 追撃だ――!!

!!
日橋川の橋が落とされてる…

伊達軍が迫ってるぞ!! 早く行け!!
うわっ!! 押すな!! 押すな――

うわああぁ
ドドドドド

留まる者

ドドドドド

橋だ…

これで城に戻れる…
金上と共に籠城を…

最後の進言

金上…？

追っ手を食い止める者が必要でしょう
私はここまでです

馬鹿な事言うな!!
おまえも来るのだ!!
殿!!
お急ぎを!!

芦名家を
姫をよろしくお願いいたします

断固死守

ドドドドドドド…

さっき逃げたのは芦名義広ですね？
私は伊達家家臣片倉景綱!!

最後の相手にふさわしい男が来たな…
フ・・・

かかって来い!!
私は金上盛備!!
芦名の守護神なり!!

ドガガガッ

63 名門芦名家の落日

ひねくれ大将

ぶっちゃけた

あなたが欲しい

よく言われます

最後の忠告

どっか行って

自分が最強

長年の目標

誰も責めない

芦名家の終わり

先に進む者

芦名義広は黒川城を脱出し佐竹家に身を寄せる

芦名の血を引く小杉山御台は生涯義広に連れ添ったといわれる

芦名家が滅んだ事で近隣の白河義親 石川昭光 岩城常隆らも続々 伊達家に降伏し

政宗は二十三歳にして

ついに名実共に奥羽の覇者となる

芦名を破った伊達家は
ついに奥羽一の勢力に
のし上がる――

64 近づく青春の終わり

「奥州探題」の地位に
奥羽一の領土…
本当に殿は奥羽の覇者に
なったのじゃな…

いつになるやら

目指すは京

勝ててよかった

二人でやって

生涯無礼講

ぶっかけちゃって

結局ヤバイ

侵入不可に!!

新居も
いい感じ
じゃのう!!
本当によかったのか?
おまえまで引っ越してきて

何を言う
その…
離れていては
子作りができぬであろう!!

愛…
いや それは
妻として当然の
役目であるからして…

ぱか
あー 天井裏も
いい感じですねえ
大工――!!
改築しろ――

豆知識

おー!!
ここが黒川城か!!
愛!!

これで一歩 京に
近づいたのじゃな!!
ほんの少し
だけどな…

早く行きたいのう
京の「清水寺」!!
おいおい
観光気分かよ

何を言う 清水寺は
わらわの祖先
坂上田村麻呂公が
建立したのじゃぞ?
マジ?
マジですよ

喜ばない者

終章の幕開け

はるか西
大坂城――

政宗が芦名を滅ぼしたのう…

関白
豊臣秀吉

65 大猿を怒らせた

上には上がいる

簡単だった

猶予無し

なんとなくだよ

両方に備えるの意

持ってくんな

歴史上にも

伊達家を思えばこそ

北条の希望

一方 北条家
相模国小田原城

父上 秀吉からまた「上洛(臣従)せよ」との要請が来ましたが…
当主
北条氏直

「そのうち上洛する」とでも返しておけ
その間に防備を固めるのだ
前当主
北条氏政

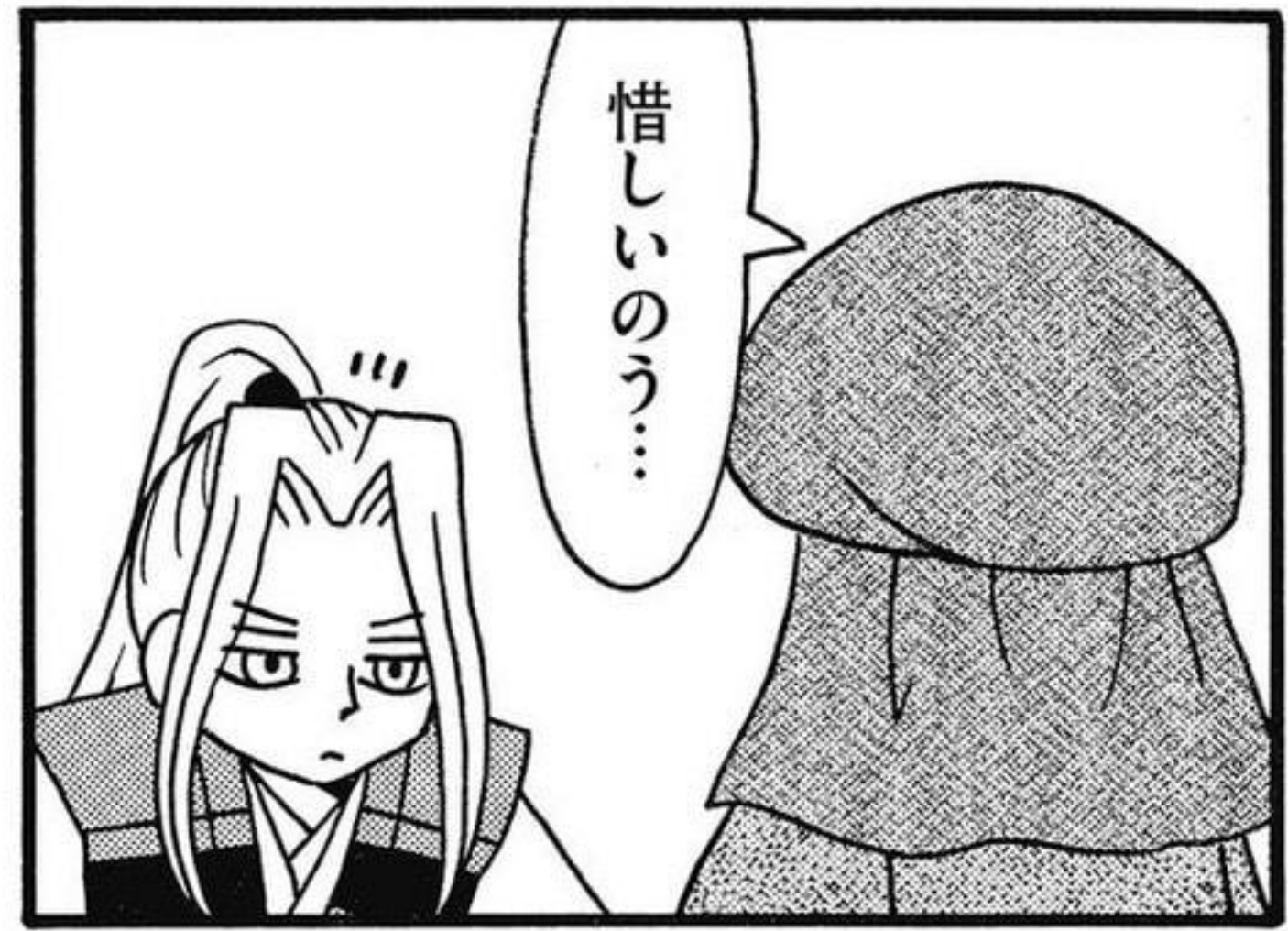
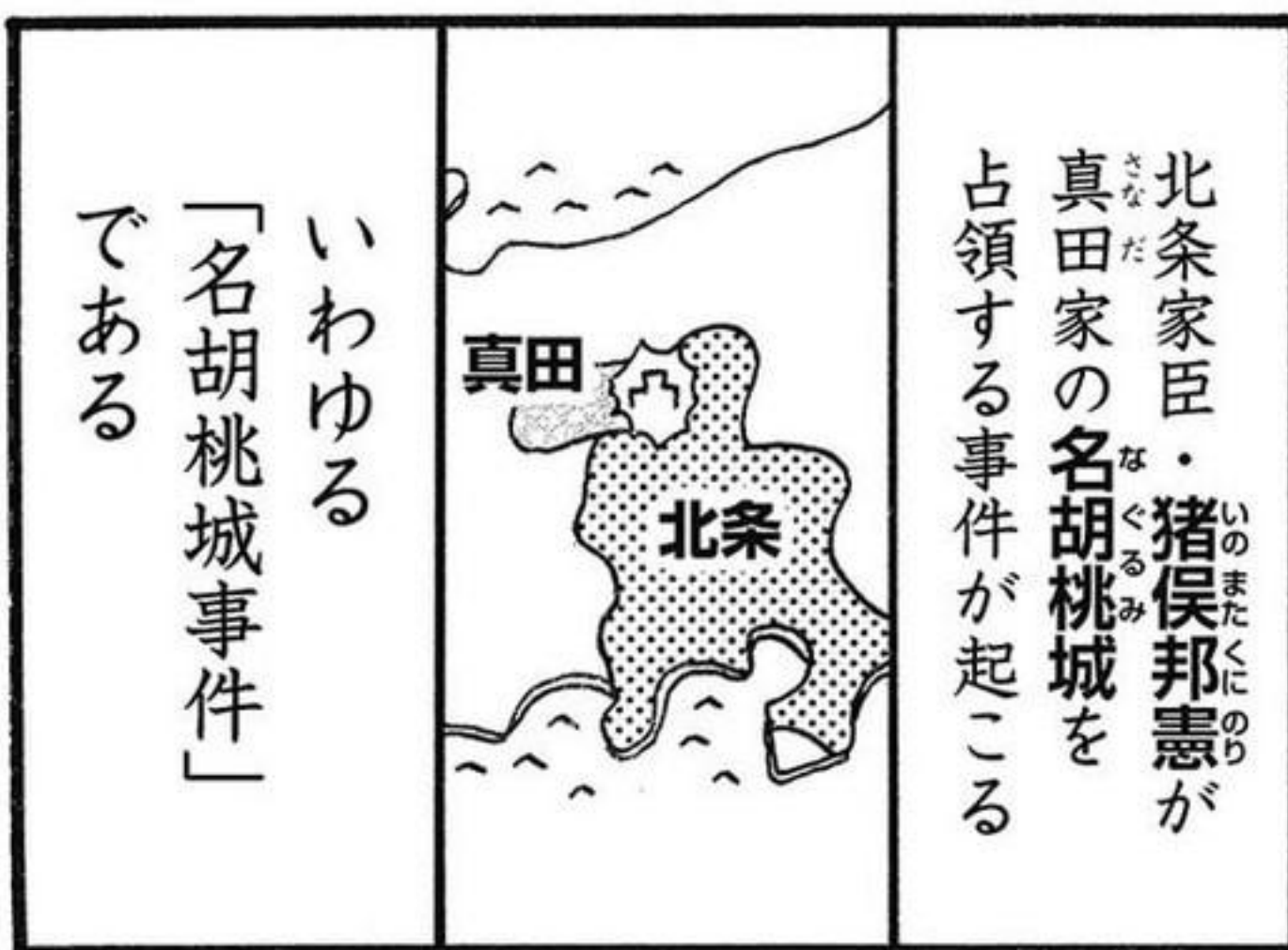
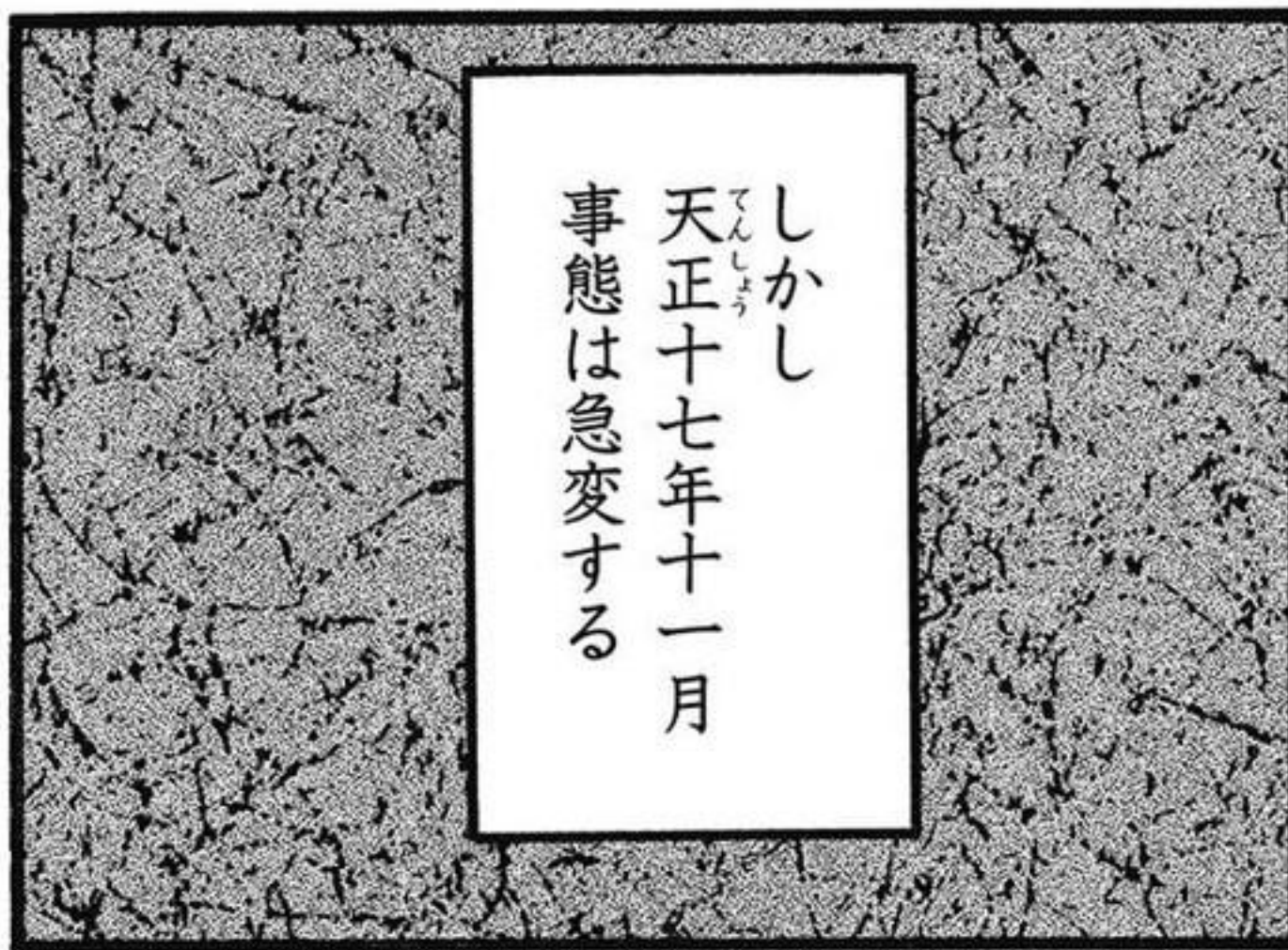
北条家が誇る堅固な城々で耐えしのぎ
奥羽の伊達政宗が援軍に来れば秀吉を追い払える!!

怪物が動く

しかし
天正十七年十一月
事態は急変する

北条家臣・猪俣邦憲が真田家の名胡桃城を占領する事件が起こる
真田
北条
いわゆる「名胡桃城事件」である

これは秀吉にとって明確な惣無事令違反にあたるものだった
もういい… わかった

豊臣の総力をもって北条を滅ぼす!!
そのまま伊達政宗もだ!!

豊臣秀吉は
北条家に宣戦布告し
全国の有力大名に
出陣を命じる

天下統一の総仕上げ
「小田原征伐」の
始まりである

66 今そこに来る危機

なおピンチ

不名誉残る

よく言った
綱元!!
来るべきものが
来たな…
秀吉と戦うか
降伏か…

とりあえず北条の
出方を待つぞ
北条が秀吉と
戦う気があるのかどうかが
わかってから判断する

ははっ
しかし

北条家は結論の出ない
会議を延々と繰り返し
戦うぞ!
いや
降伏だ
後に「小田原評定」
という諺が作られて
しまう
早くしろおお

武闘派の血

秀吉ががが…
これ 北条倒したら
次はすぐにウチって
事ですよね!!

だったら
どうする綱元
さっさと降伏
したいのか?

いーや ナメられたくない
伊達家の戦ぶりを
見せてやりたい!!
ビビっても
左月斎殿の子だな…

対決姿勢

天正十八年
一月
殿ォ――!!

どうやら北条家は秀吉と戦う決意をした…んじゃないかなぁという感じです!!
なんだそりゃ…

朗報だな!!
えーと 北条の兵力は五万くらいだったか?

伊達軍は三万…
合わせて八万
秀吉が十万の兵で攻めてきても十分勝機はある!!

越えてくる

殿…今回の戦の秀吉軍の兵力が判明しました

!!
来たああ!!

十万か?
いやたとえ十五万だって受けて立つぜ!!

二十万です

あきらめて

秀吉恐るべし

味方でもやる

本当に最後

ですよねー♡

家中の意見は真っぷたつのようです
愛様はどうお考えですか？
別に何もー？

殿が戦うと言ったら「がんばれ」と言い
降伏すると言ったら「元気出せ」と言うまでじゃ

愛してると言ったら？
「わらわもじゃ」と言うまで…
はっ!!

決断の時

景綱 皆を集めろ
評定を行う
はっ…

ザッ
ザッ…

ばん

開戦か降伏か
伊達家の運命を決める評定が始まる

伊達家は秀吉の脅威に対抗すべく

北条家と共に佐竹義重を攻め降伏に追い込む

67 一世一代の選択

さらに北の最上義光をも完全に屈服させる

そして東海道の雄徳川家康は北条氏直の妻の父であるため

北条家は徳川家を味方に引き入れる事に成功

ここに東国大連合軍が結成され

秀吉との一大決戦に挑む!!

——という作戦でどうだ!!

それは作戦じゃなくて妄想です!!

伊達家四百年の意地

大軍追加

きりがない

だいたい今さら降伏しに行って許されんのか？
殿が首を刎ねられるかもしれねーぞ？

たしかに…

よし どうしたら首を刎ねられないかを話し合おう!!
議題増やすなー!!

正直な意見

景綱!! オメーはどうなんだ!!
そうだ!! 軍師として!!

ならば述べましょう…

疲れました
お開きにしてまた明日にしましょー
ぱん

すこやか姫

景綱!!
どうなりましたか？
姉上!!
まだ結論は
出ていません

皆 不安なのですよ
あの愛様
だって…

気になって
夜しか眠れないと
普通です

飯も二杯しか
喉を通らないと
何の心配も
いりませんね…

軍師の出番

政宗様の御心は
決まっているはず
ただ…「意地」の
ようなものが邪魔を
しているようです

それさえ
消せれば…

蝿か…
これだ

あなたを潰したい

天下人なのに

もろについた

試練の前の試練

もう…考えて考えて

疲れ果てました…

でも やらなければならない事はわかっています

68 母親の心 子知らず

指導もする

どうやって兄上を…？

私が食事を振る舞うと言って呼び出します

兄上が…来るでしょうか…

「料理上手のそなたに味の評価をしてほしい」と言えば…
来る!! 飛んで来る!!

飼うなよ…

そしてこれを使います
コト…

毒…ですか？
そう

ゾク…
すでに試してみて効果は立証済みです…

オレが飼ってた毛虫殿が全滅してる!! 誰だ——!!

こっちが終わる

密かな野心

珍しく勝てそう

最強主従って事で

危険物扱い

あらカワイイ

時代は変わった

最上義光居城
山形城
義姫から
文が来た…
政宗を暗殺するから
その後の援助を頼むと
おぉ!!

馬鹿な事を…!!
ぐしゃ
ええ?

政宗を殺して
無事でいられると
思っているのか…
しかし伊達家の
弱体化は殿も
望んでた事では?
??

もう そんな事
やってる場合では
無いのだ!!
戦国の世は…
終わるのだぞ!!

悪夢へ

伊達政宗は奥羽の群雄と
戦い続ける傍ら

幼少の頃より家中の
「小次郎擁立派」と
水面下で戦ってきた

その小次郎派の
筆頭である
母・義姫と

ついに決別の
時を迎える

69 さらば息子 さらば母

小田原参陣は——

留守は成実に——

秀吉の動きは——

聞こえてる!!

戦国大名ですから

その時

早まったか？

生死を分ける

姫が何してんの

では いただきます!!
ドクン

景綱!! 殿はどこじゃ!!
愛様!! 殿は義姫様の部屋です!!

愛様もイヤな予感がしたのですね…?

え? でっかいカサブタが取れたから殿に見せようかと
何でもいいです 急ぎましょう!!

涙

ドッドッドッドッドッ
ど どうしたの政宗 早く食べなさい
まさか… 気づかれた…?

ぼろっ…

念願

も申し訳ありません…
??

俺は…
俺は…

母上の料理を食べるのが初めてで
嬉しくて…

毒

おっと!! 冷めてしまいますな!! 食べねば!!

だめ…

異変

悪夢

毒は全部吐き出せたと思われます…

70 母の罪と罰

死にかけてる

なぜ こんな時に

戦国だけど

はるかかなたへ

ひとまず秀吉の事は置いておいて…
考えたくないでしょうが決めねばならない事があります

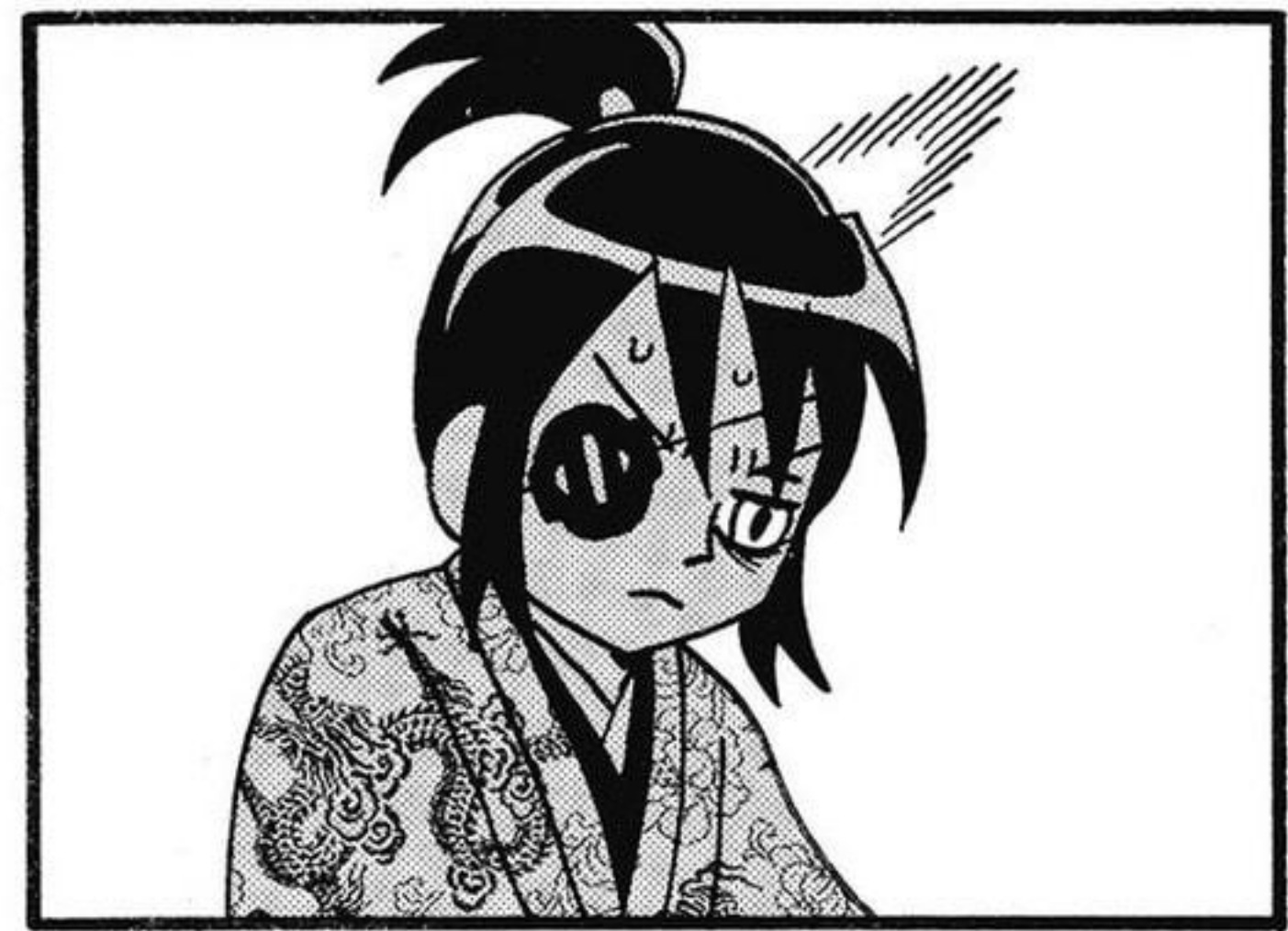
毒を盛った義姫様の処罰です

毒を試すためにオレの毛虫殿たちを殺したしな…
それはもっと遠くに置いておきましょう

母の命

僭越ながら死罪にすべきかと
な…

殿の母君だぞ!!殺すなんて…
毒盛ったんだぜ？死罪にしなきゃおかしいだろ!!
殿のお考えは？

考えたい…
刻を…くれ
はっ…

わらわがやる!!

過保護待機

決断

しかし…
追放だけでは済まないかもしれませんね…

まだ終わらない？
どういう事だ？
？

やはりそれしかないのか…

意外な名

二日後

屋代
今から ここに来る者を粛清してもらいたい

それは…
やはり
ドクン
義姫様でしょうか…

小次郎だ

兄弟対峙

主君の弟を
討つ事など…
私には…
そうか…
わかった
屋代景頼はそう言って
辞退したといわれる

スタ
スタ…

お呼びで
しょうか
兄上

初の拒絶

弟君を…
なぜ…

殿は小次郎様の
存在が全ての元凶と
お考えに…

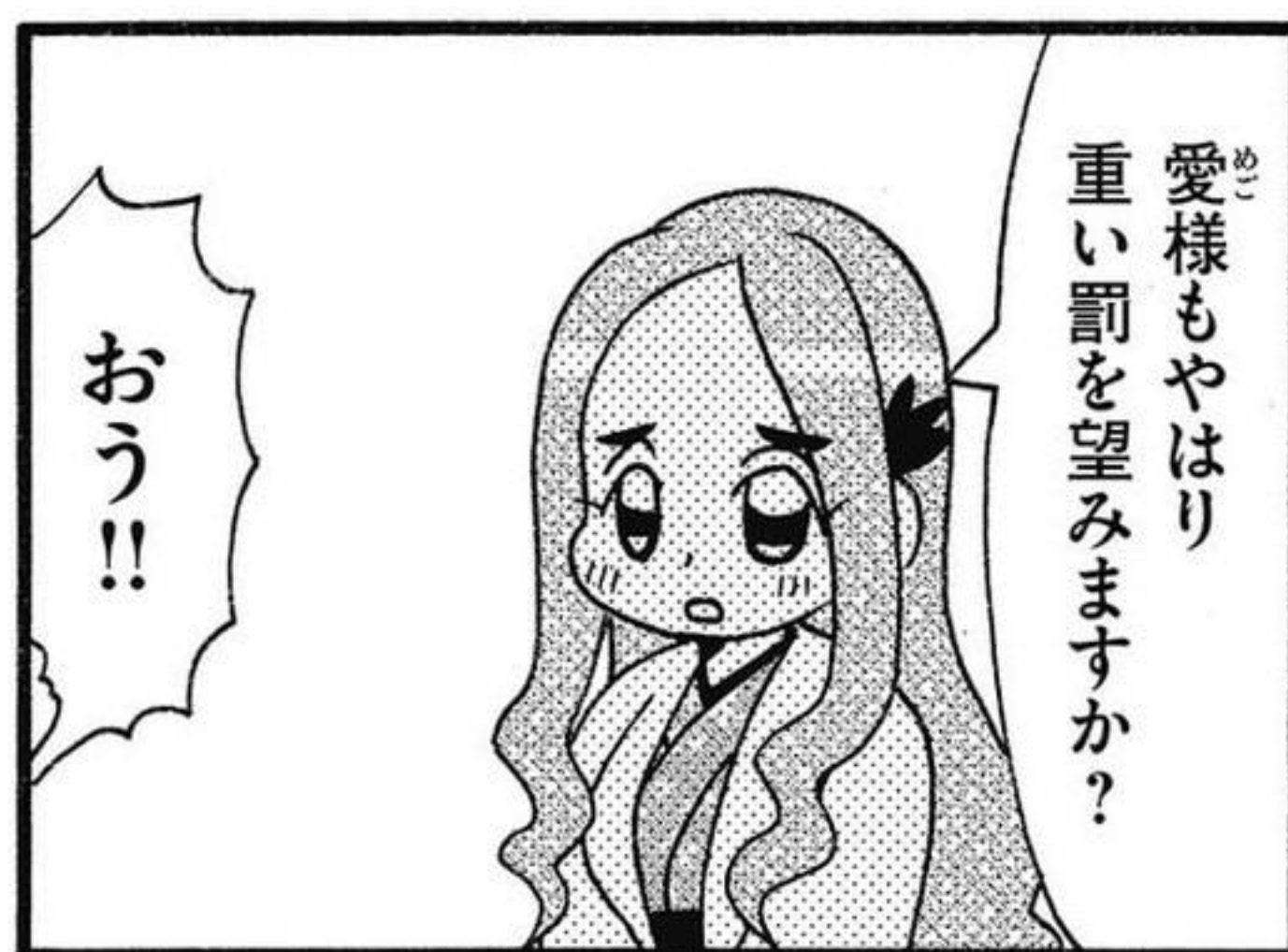
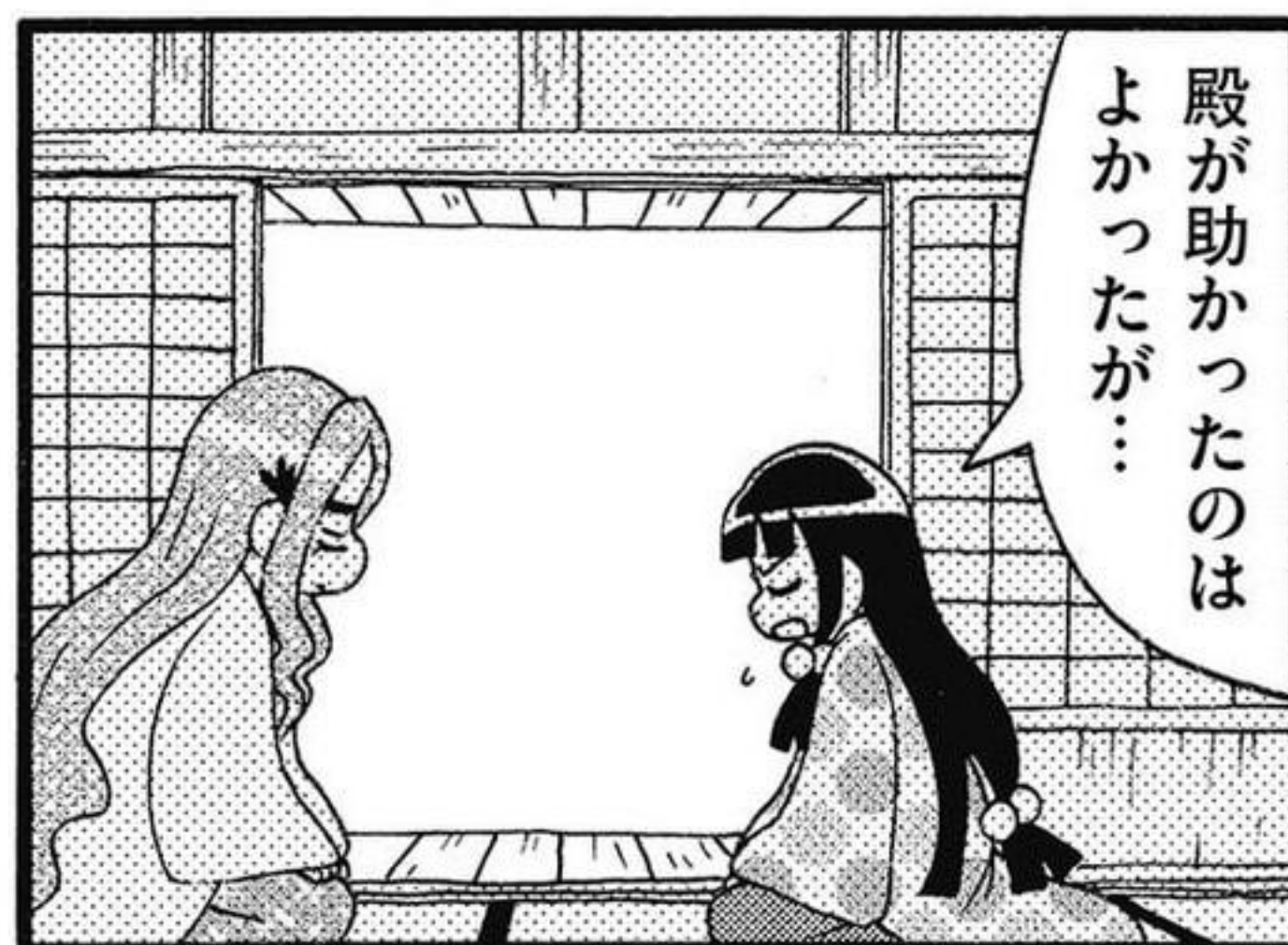
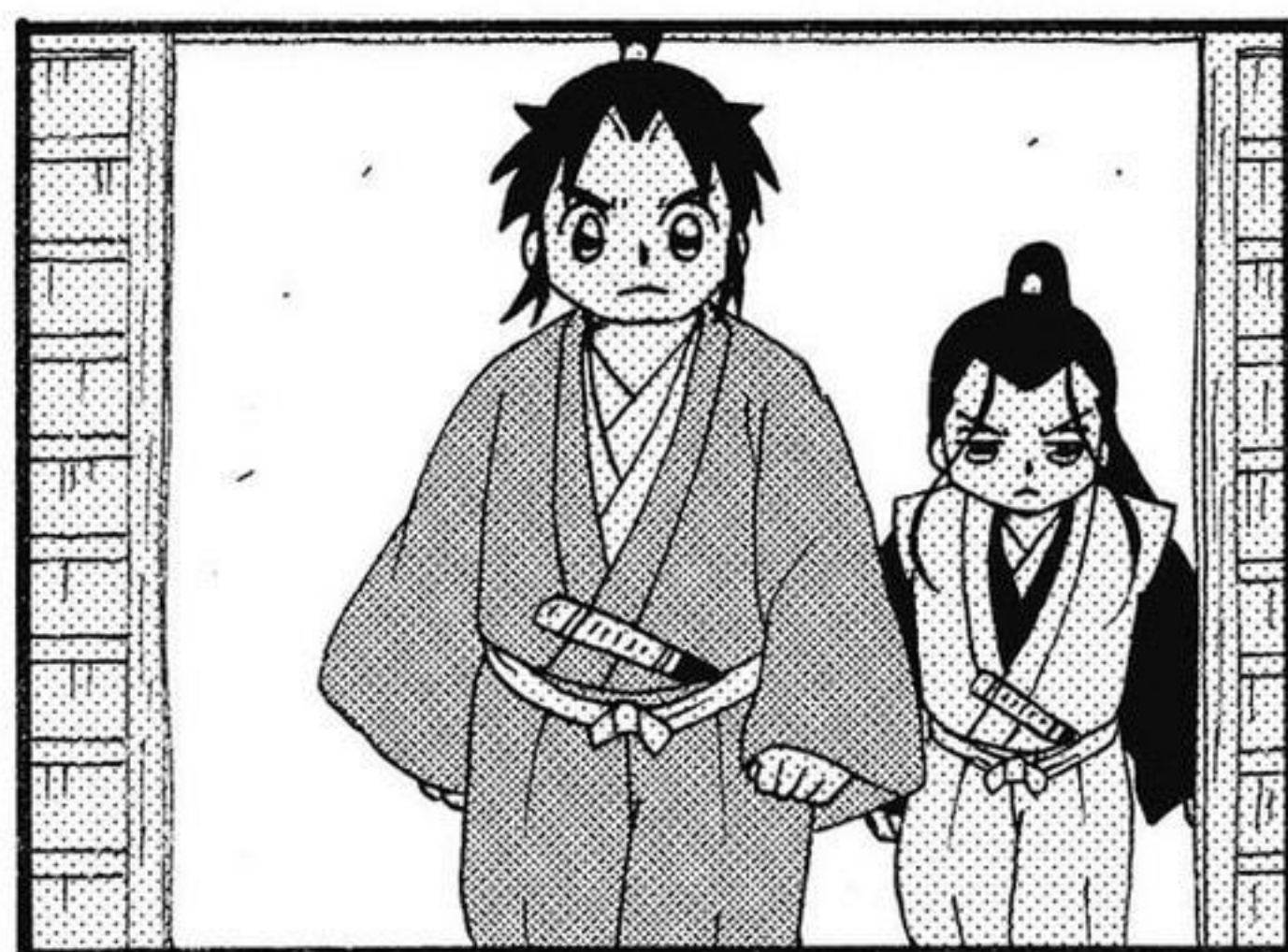
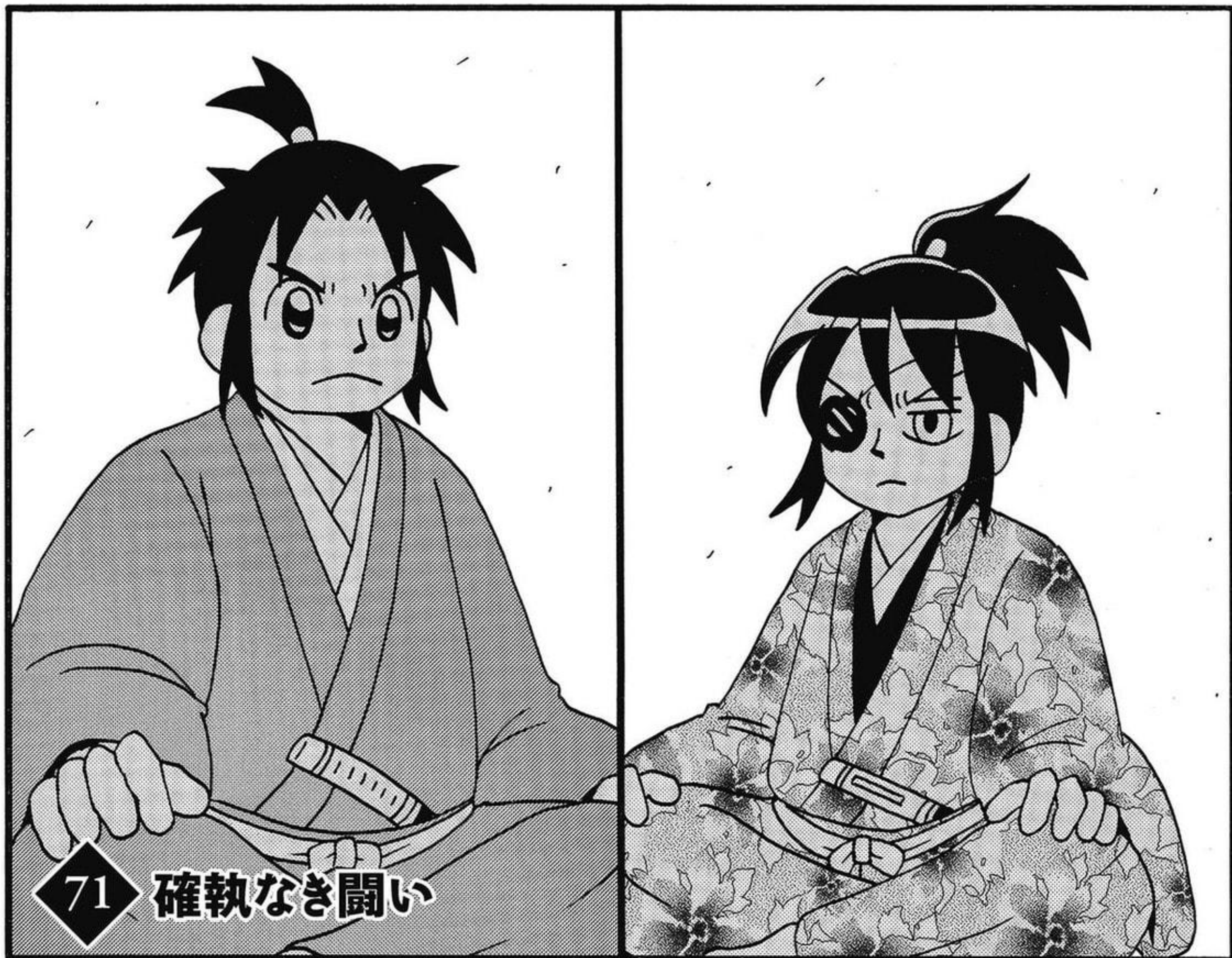
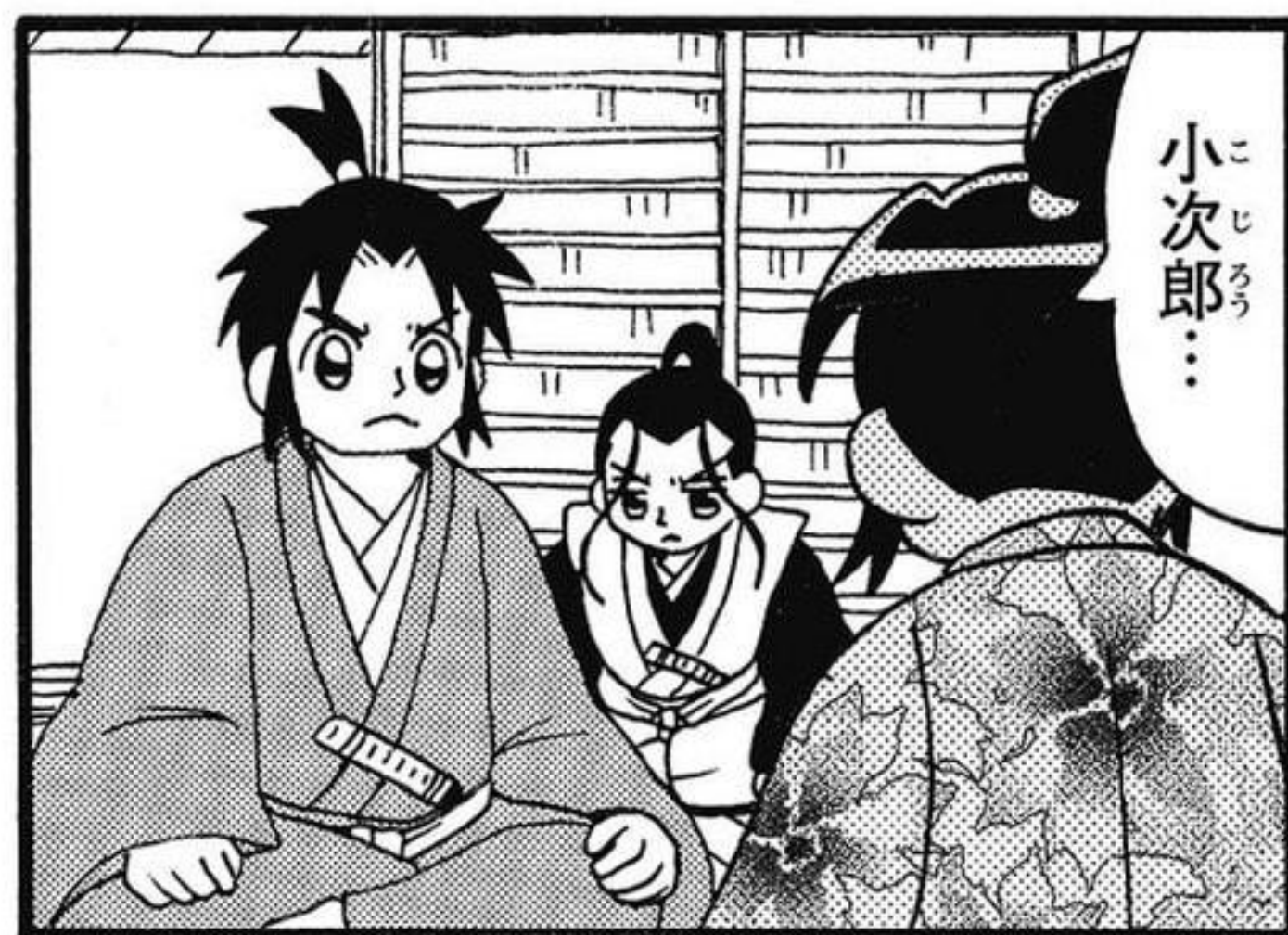
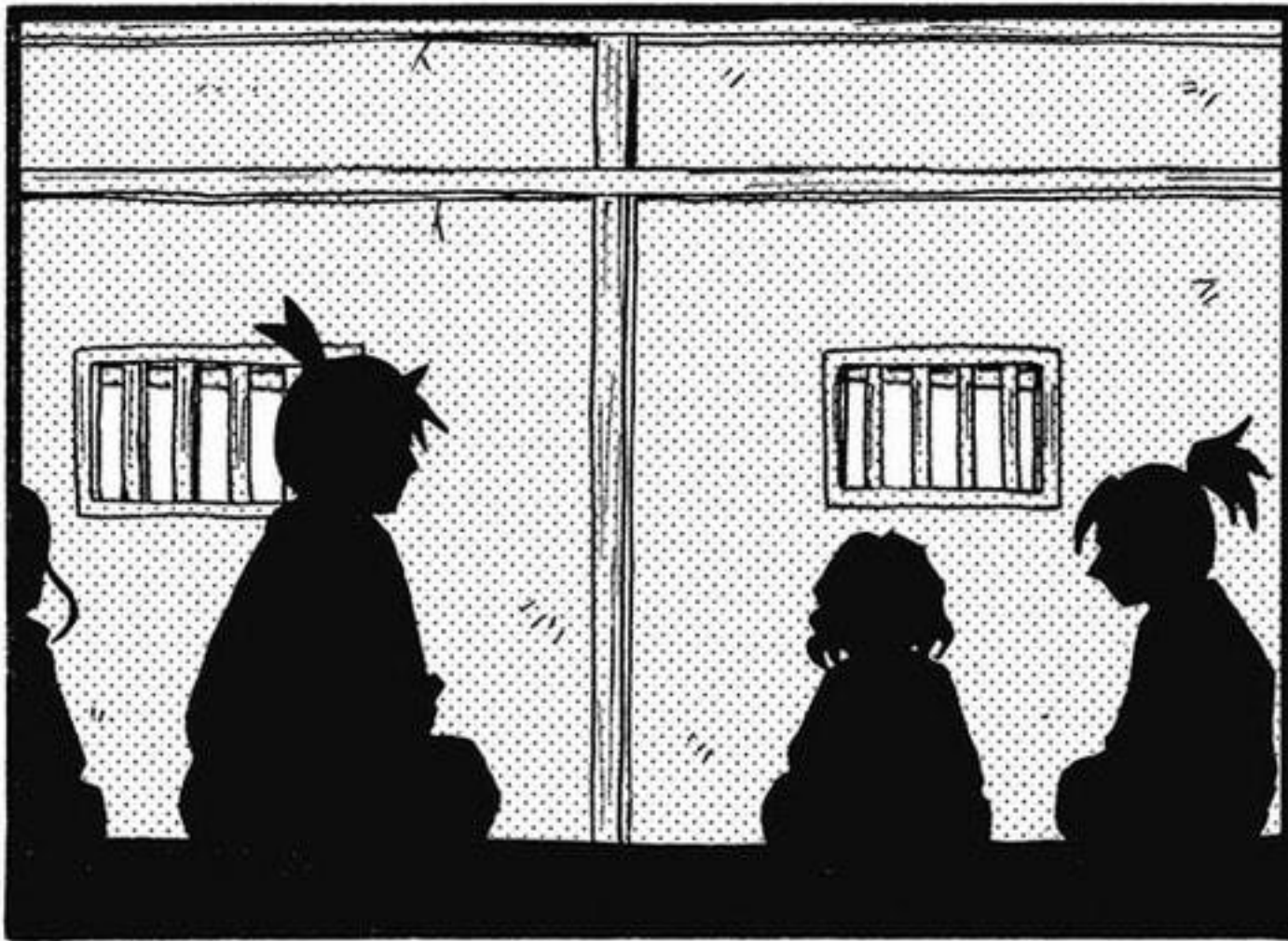
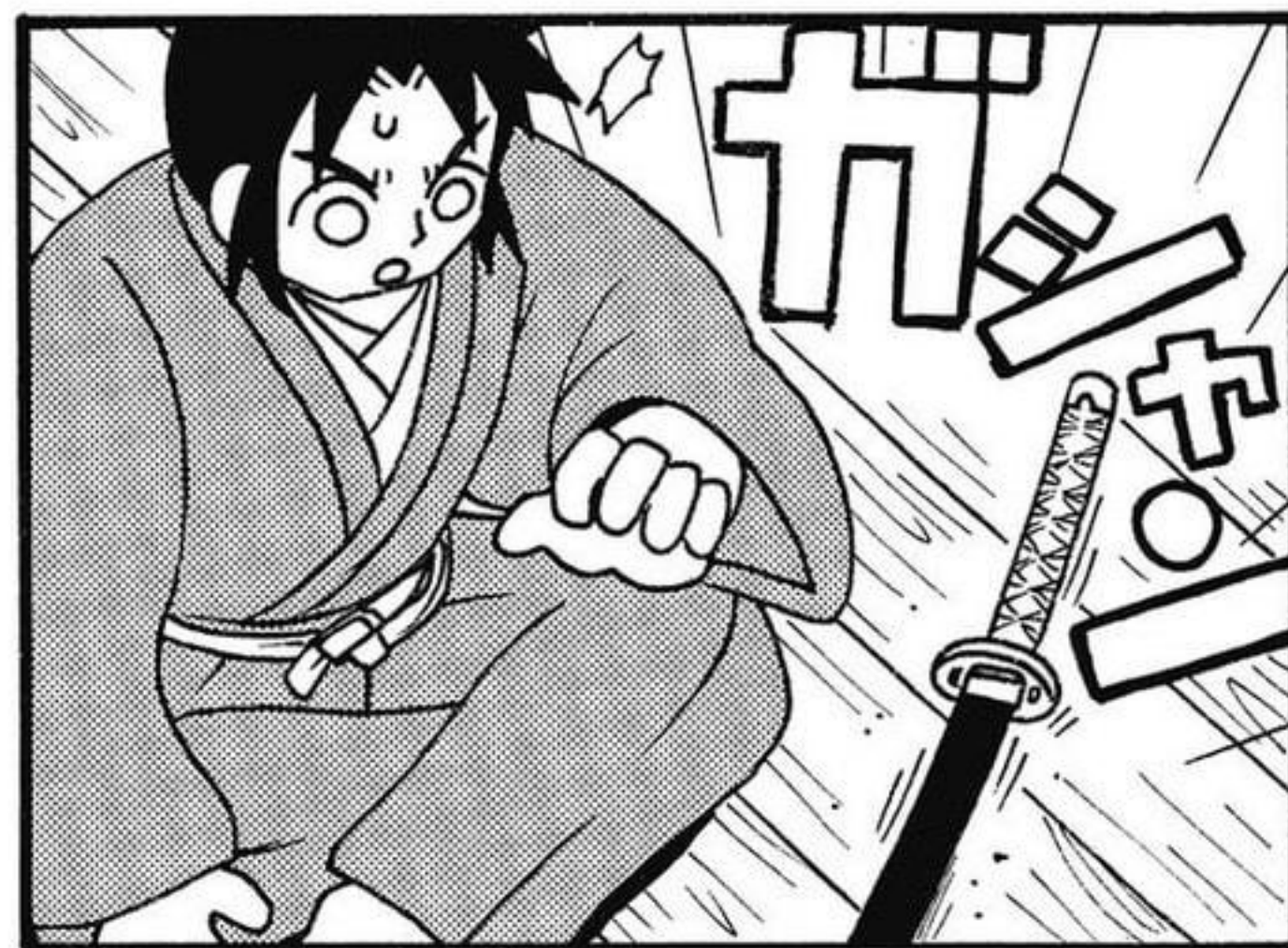
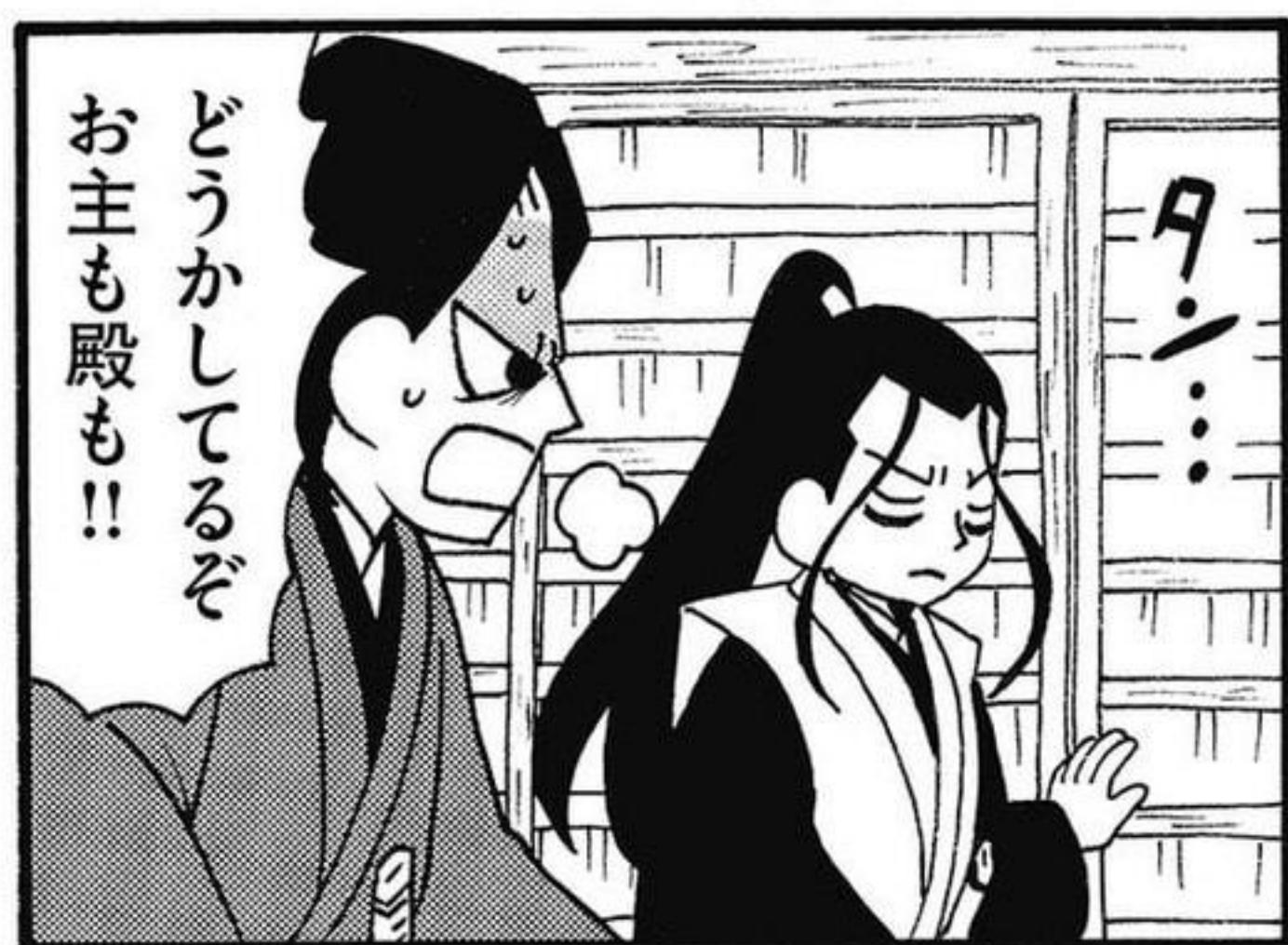
それは…
その粛清だけは…
できませぬ

71 確執なき闘い

何やってんだ妻

小次郎…

…いえ

二日前…
何があったか
知ってるか?

愛姫様の
でっかいカサブタが
とれた事くらいしか…
それは
俺が知らねえ

同意の上

その汁物には
毒が盛られていた!!
小次郎 おまえは
母上の計画を
聞いていたのか?

はい

そこ必要?

二日前…俺は母上に
料理を馳走になった

そして汁物に
口をつけた…

味噌をふんだんに使った
「あつめ汁」で…
具は山芋 大根 かぶ
あわびが入り…
料理のくだり長っ!!

最終手段

どこかで望んでた

決闘へ

グッ…

そうだな
おまえは今まで何とも戦わずに生きてきたのだったな…
ガチャ…

ガシャーン

俺と戦わせてやる
元よりそのつもりで呼んだ

見くびってる？

な…
何を言われます政宗様!!

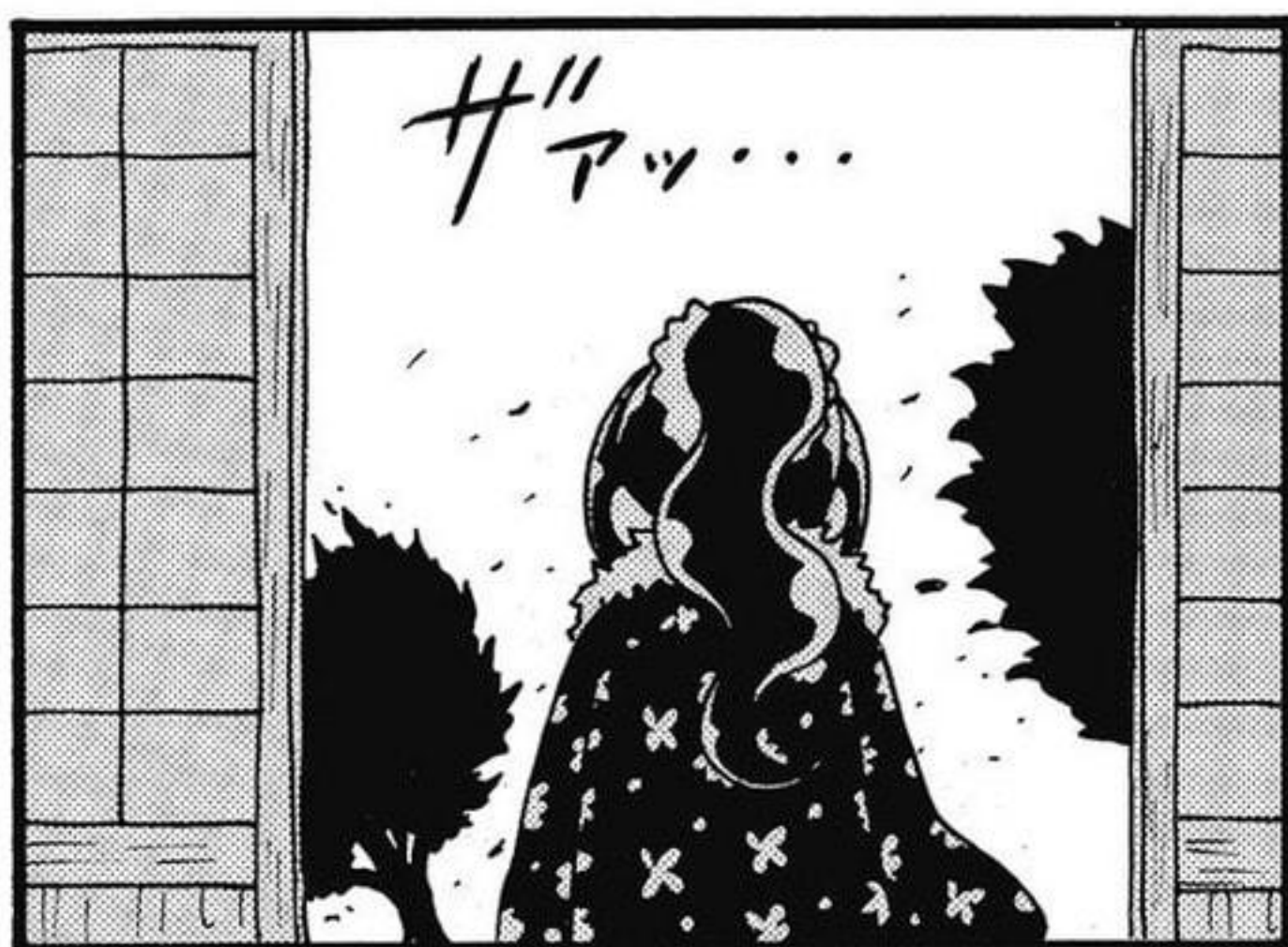
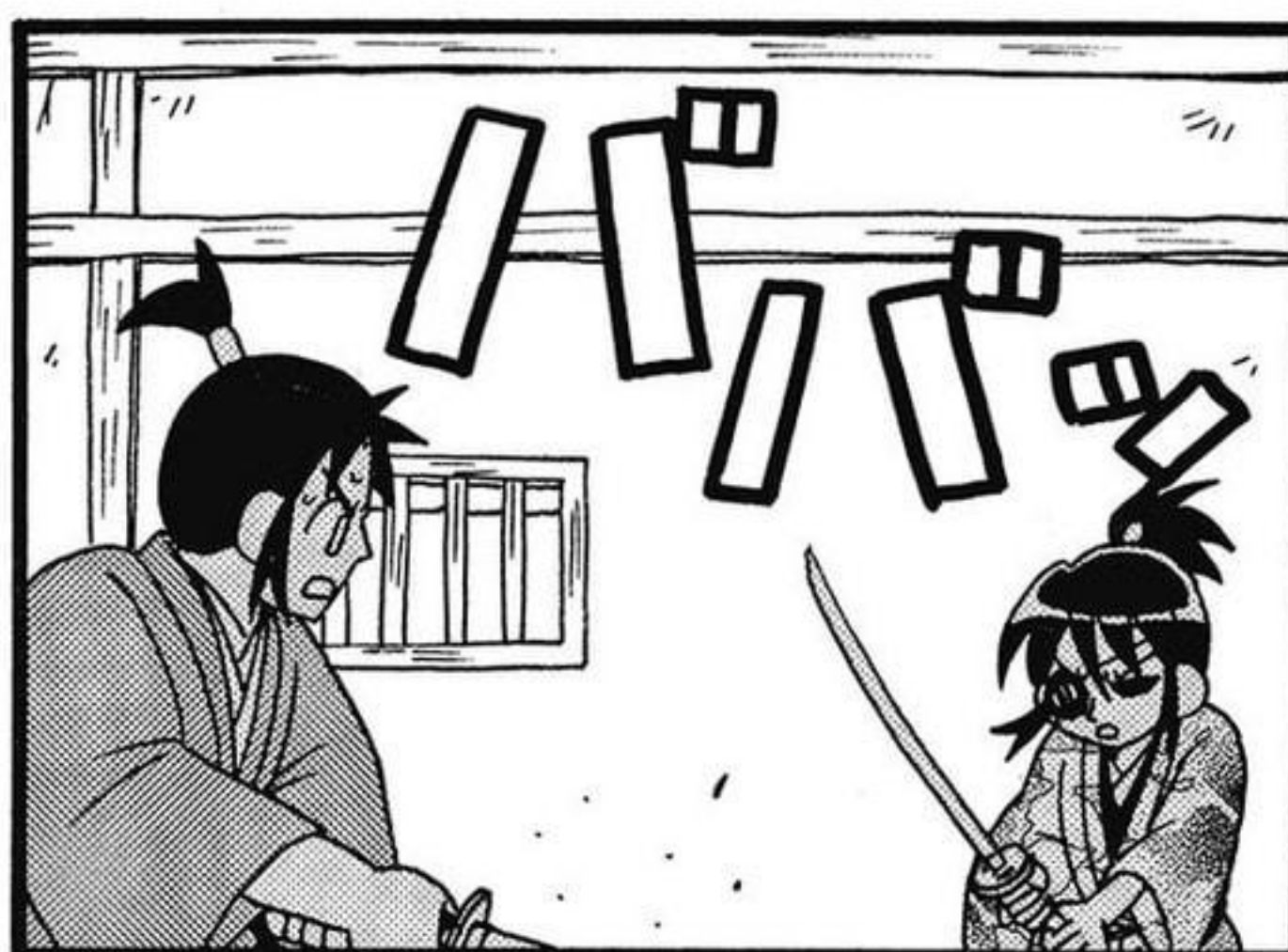
おまえらは出てけ小次郎と一対一で闘る
危険です!!
承知いたしかねます!!

つまり屋代殿は殿が弱いから負けそうだと？
ほほう
ピキ
わ――!!
そうは言っておりませぬ!!

一気に不安

完全タイマン

因縁の決着へ

伊達家が選ぶのは

72 斬り捨てたのは家族

勝てば正義

死しかない

ささやかすぎる

内なる敵

どこから出した

終結

信頼

作って治す

どさ…

終わった
行くぞ景綱

その血は…
少し斬られた
この程度肉食えば治る

雉の味噌焼きで一発だ
こんな時でも作る気だ‼

家族

政宗‼

わらわがいるからな‼
わらわは…ずーっと一緒じゃぞ‼

後悔

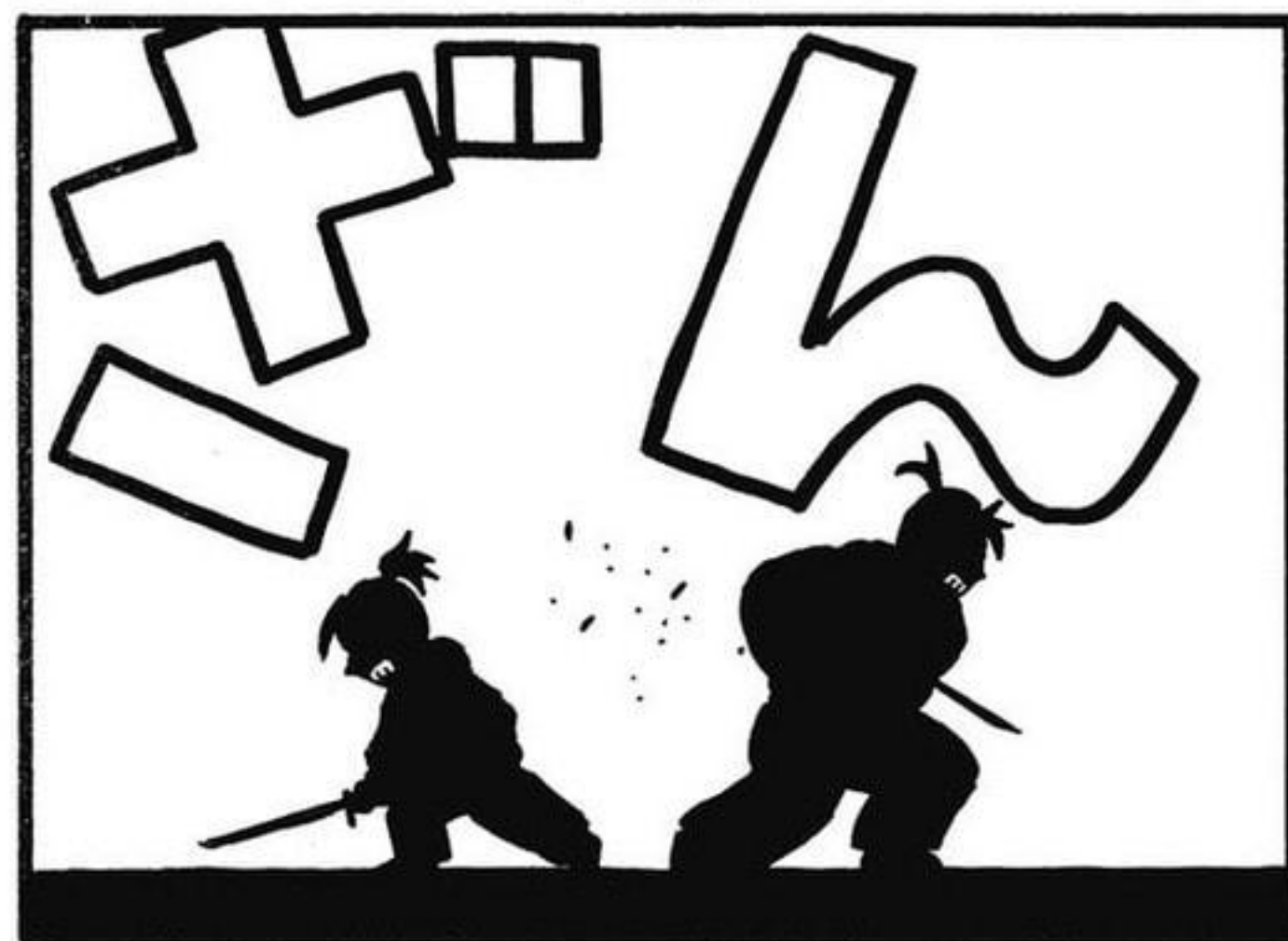
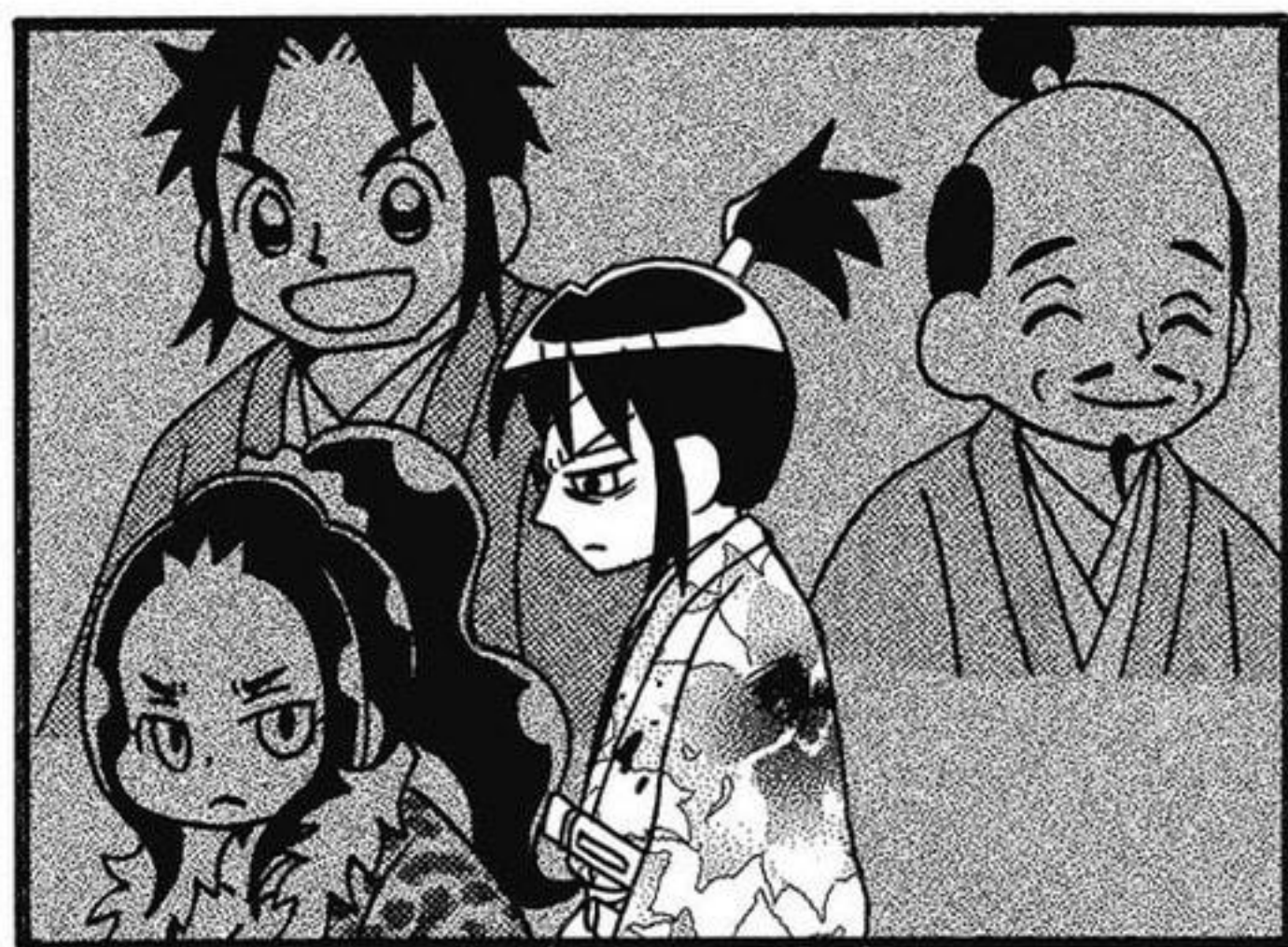
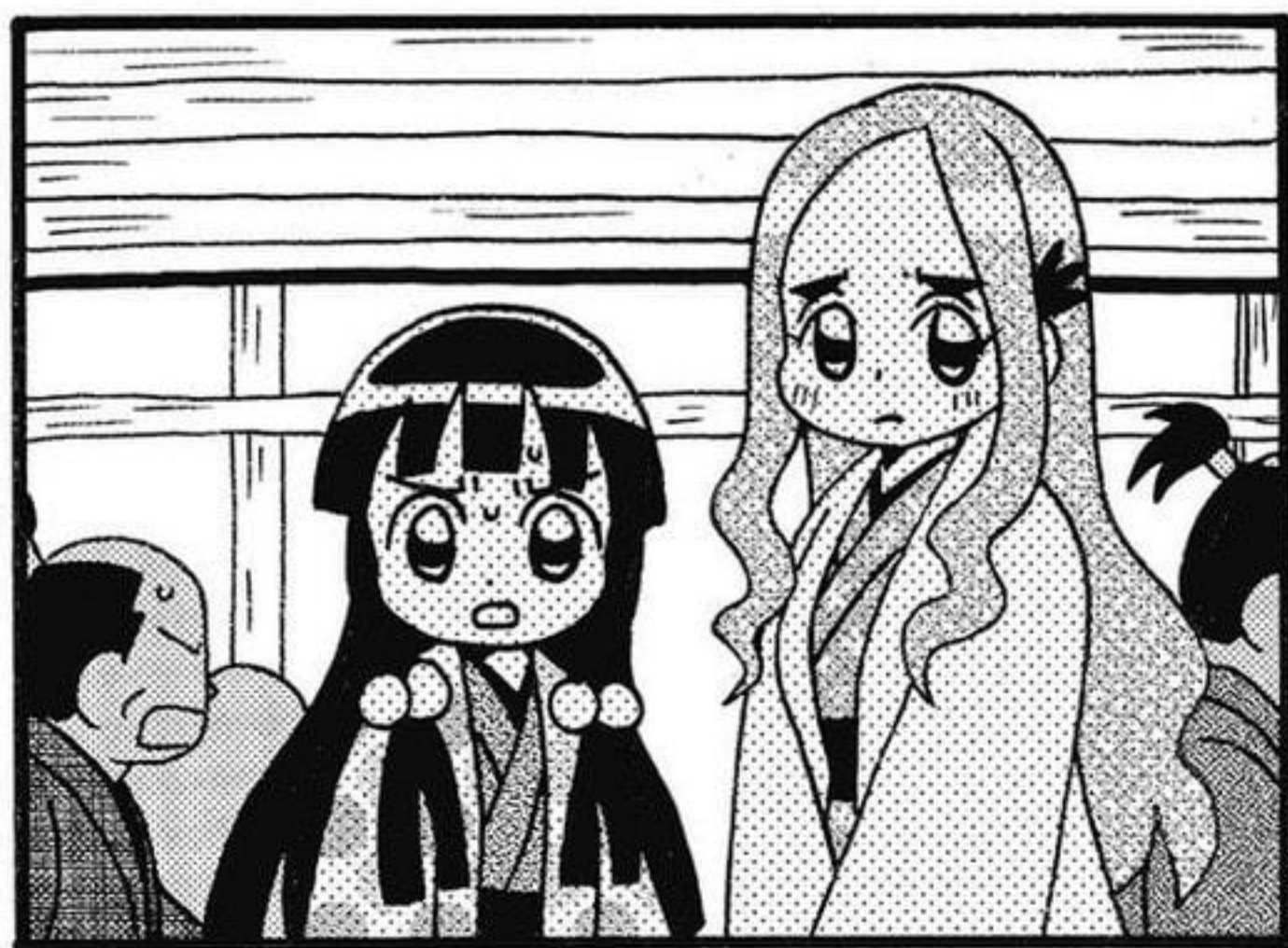
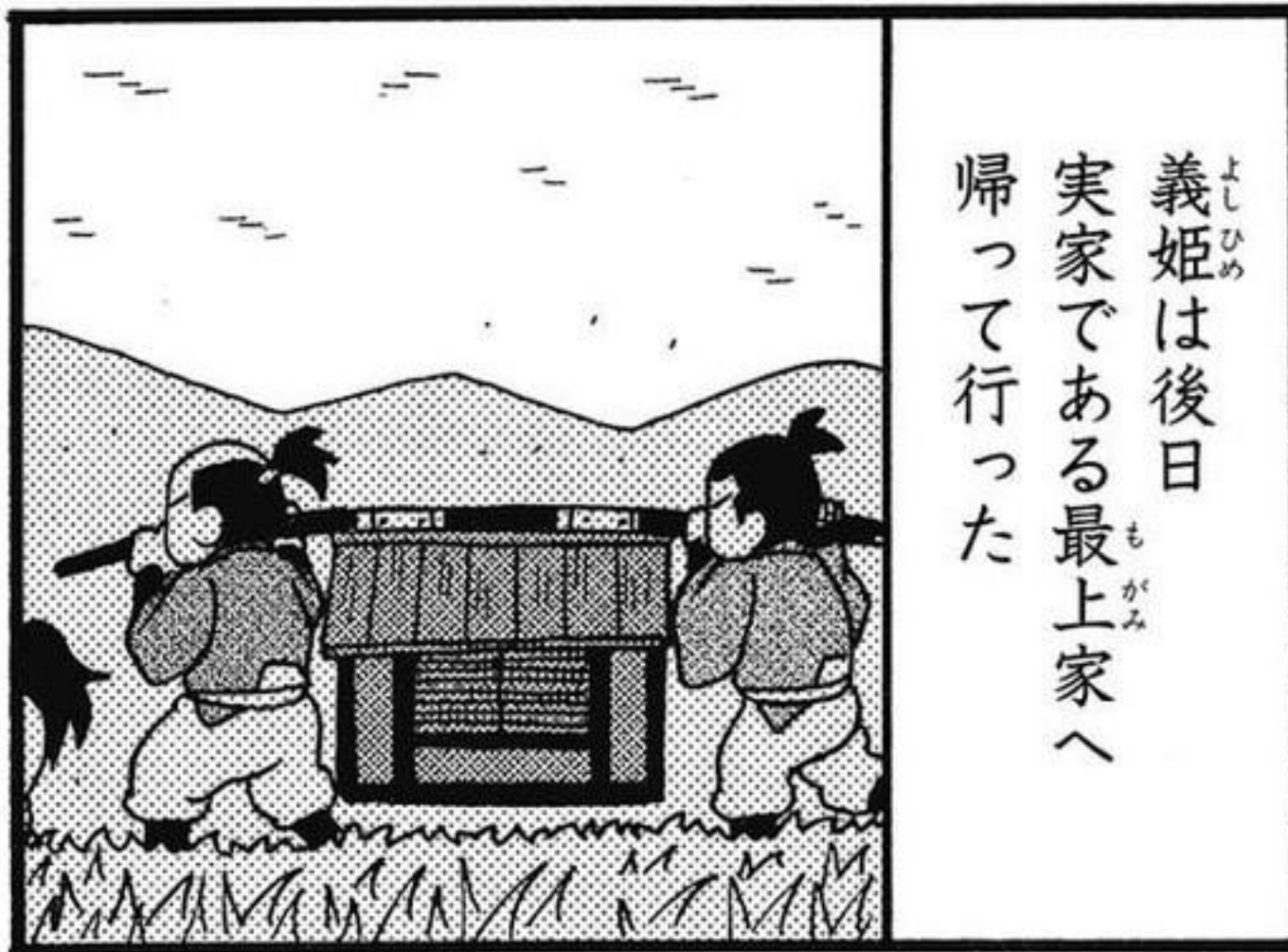
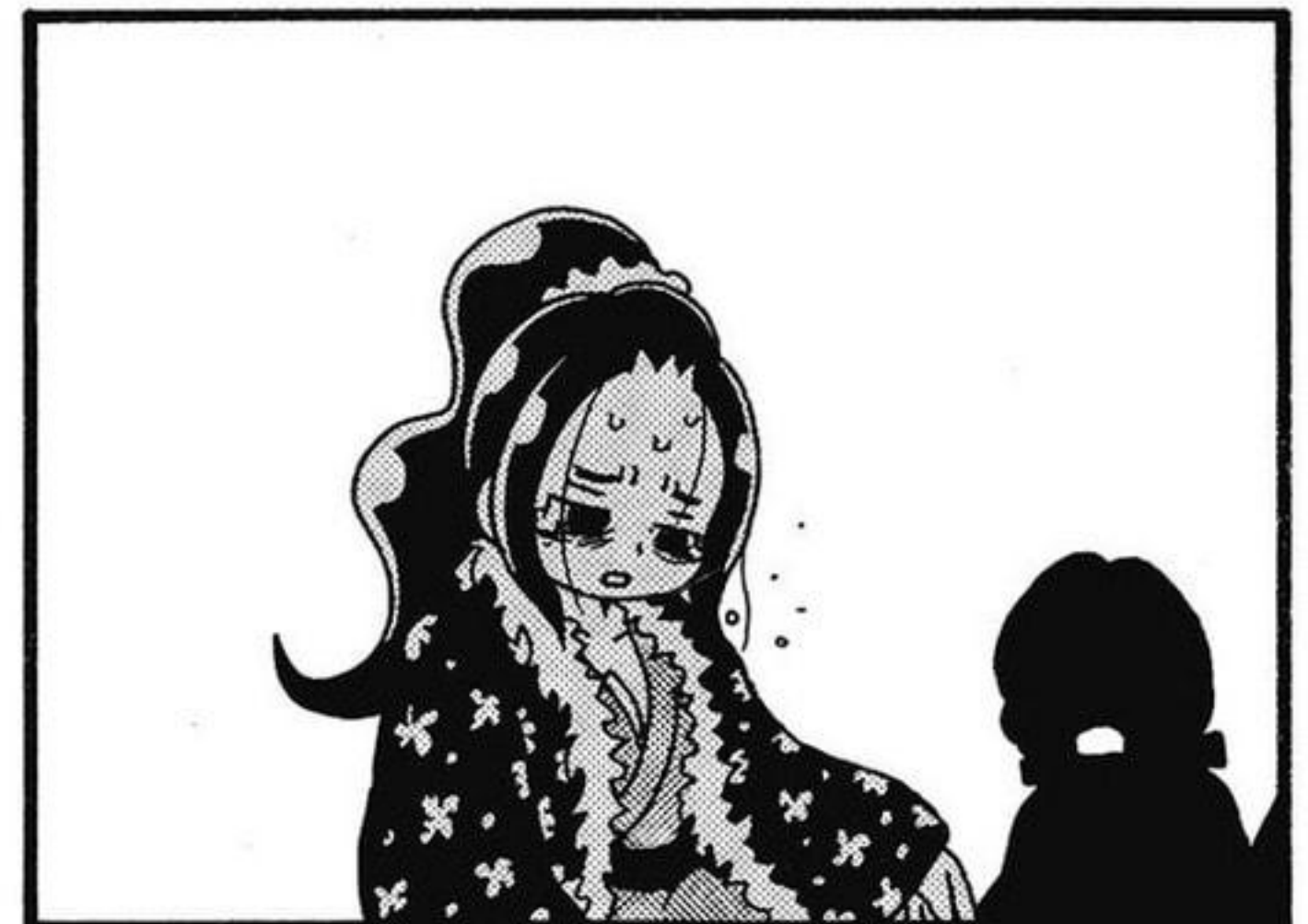
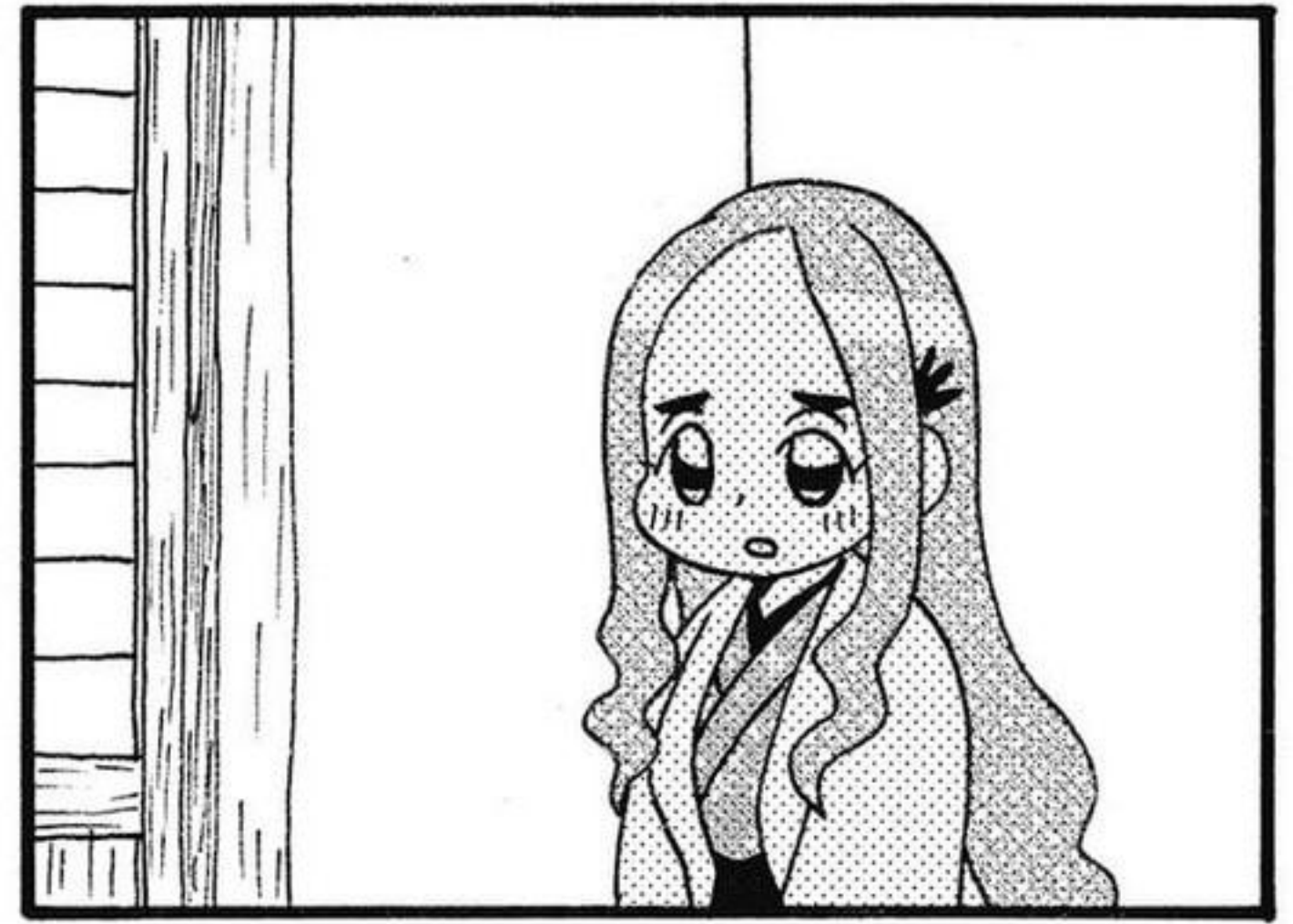
結末の再会

義姫は後日実家である最上家へ帰って行った

それでもあの方はどこまでいっても俺の母なんだ…

先の話ではあるが数年後 政宗と義姫は手紙をやり取りするようになり

さらに先 最上家が取り潰しになった時 政宗は年老いた義姫を伊達家に迎え入れている

母子の縁は最後まで途切れる事は無かった

天正十八年 四月
小田原城包囲中の
豊臣秀吉

伊達政宗(の降伏)はまだかっつーの!!

73 いざ小田原へ

許してね

いい若者だ

政宗との交渉担当の浅野長吉
もう少しで来るはずです いましばらくお待ちを!!

無用な戦はせぬに限ります!!
むー
それはそうなのだが…

伊達政宗… なんとか救ってやりたい…

だって贈り物たくさんもらっちゃったし!!
とりなして
政宗の抜け目無い所である

内容は真逆

しかし北条もなかなか降伏して来んのー

二十二万対五万なのにな…

その頃 小田原城に籠もる北条氏政は

伊達政宗(の援軍)はまだかってんだ!!
似たような事を叫んでいた

父を間違えるな

紙一重の連鎖

予感

左門もすくすく育ってるようだな
はい

…ところで
どうして一日だけ戻って来たのですか？

ピク…

今度の小田原行きが今生の別れになりそうだからではないのですか？

教育係再び

政宗様の体が全快するまで出発は延期となり
あ…
一日だけ城に戻る事を許された

父上!! せっかくですし剣のけいこをつけてください!!
いいだろう

ガ
ガ
ガ

思い出すなあ稽古で政宗様をボッコボコにした…楽しかったあの頃を
フフフ…
ボッコボコはやめてくださいねー

「手料理」!!

天正十八年
四月十五日
出発の日

とん…

必ず帰って
くるのじゃぞ
お主の料理…
まだまだ食べ足りない
からな!!
…安心しろ

作り方は
本にまとめてあるぜ!!
料理だけじゃ
イヤなのじゃ!!

伝わりました

…わかるのか
これでも城主の
妻ですから
今の情勢くらい
把握していいます

おそらく秀吉の怒りは
相当なものになって
いるだろう
生きて帰れるかは…
正直五分五分だ

妻よ…
いや
旅立ちに別れの
言葉は不吉だな

「今までありがとう」とか
「そなたと夫婦になれて
幸せだった」とか
私は言わぬぞ
もう言っちゃってる
気が…

家族を背に

殿
行きましょう

うむ

信じておるぞ!!
独眼の竜は…こんな所で死ぬ男ではないと!!

政宗は小田原へ旅立つ——

気まずい…

しかし
ザッ
ザッ

そういえば留守役の成実くんがまた騒ぎ出したようですね…
行ったら殺されるぞ
いくさの準備しとくぜ!!

…心配になってきたな…
ザッ
ザッ
もう一度なだめた方が…

ちょっと行って一旦戻って来たといわれる
わリィ
何だったのじゃあの大ゲサな別れは!!

伊達政宗
秀吉の待つ
小田原へ出発——

74 ラスボス一歩手前

違う旅になる

何か作る気？

私は逃げます

綱渡り

しかし…もし
小田原征伐が
終わってしまってたと
したら…
秀吉の怒りは
まぬがれないだろう

しかし小田原城は
北条氏政の意地と

開城か…
いや
抗戦だ!!
和睦の道は…

相変わらずの
「小田原評定」で
二カ月間まだ
粘っていた
ありがたいー

通り越してた

小田原
石垣山の陣
伊達政宗が
こっちに向かってる?

あーー
そう…
?

どうすんだっけ?
えーとー…
? ?

そうだ遅れおって
許さーん!!
危ねー!!
二カ月待たされて
どうでもよく
なってた!!

綱渡りここにも

入っちゃえー

頼もしくなられた

ぽっかぽか

周到な伝言

そうそう

関白殿下に
お伝え願えませぬか
「千利休殿に
ぜひ茶の湯の指導を
受けたい」と

千利休は秀吉の下で
茶頭を務める
当代一の茶人である

政宗はその名を出す事で
教養と見識の広さを
秀吉に伝えたのである

ついに対面

なんと…
利休にのう…

田舎の乱暴者とばかり
思っていたが…
風雅を愛でる一面も
あるのか
ふむ…
ふーむ…

ニッ
俄然興味が
湧いてきたな

会ってやろう
伊達政宗を
ここに連れて来い!!

75 遠くにありて思う奥羽

純白にあらず

気絶しそう

笑ったらアウト

秀吉動く

伊達政宗にございます!!
関白殿下の幕下に加えていただきたく奥羽より参上いたしました!!

スッ
スタ
スタ…

ガッ…

絶命しそう

杖か…

斬られたかと思った
もう見ない方がいいのでは

屈辱

かろうじて間に合ったな
もう少し来るのが遅ければここが危なかったぞ

お主が芦名から奪った領土は没収するが命は助けてやる
ワシの下で励めよ!!
ぺし
ぺし

ぺし…
諸大名の面前で…

人の首を何度も…!!
ギッ

軍師の機転

寛大な処置恐悦至極に存じます!!
家臣一同厚く御礼申し上げます!!

ひょい
んー？お主は？
伊達家家臣片倉景綱!!

景綱…殿がキレるのを防いだのか!!

皆に奥羽一の智将と呼ばれております特技は篠笛!!
ただの自己宣伝か？

真の当主に

明るい天下人

変化

お主を気に入ったぞ!!
その若さで奥羽を制す実力!! 教養もあり白装束で周りを驚かせる登場も見事であった!!

ワシは関東を制した後は奥羽の仕置きに向かうが…
奥羽はどんな所じゃ？

寒く…雪深く…
小大名同士が何百年も小競り合いを繰り返してきた馴れ合いだらけの土地…

——と思っていました

強者共の夢の後

ですが奥羽は
奥羽は…

その慣習の枠の中で才覚を磨き
それぞれが意地と誇りを持って
己の大事なものを守る…

熱き者たちが集う場所です

儚い夢

我らが降伏したと知れば北条家も降伏するでしょう
これで天下は秀吉公のものに…
一時的にはな

ニッ
まだしばらくは天下は固まらねえ
おまえも言ってたじゃねえか俺には「若さ」があるって

殿!!声が大きい!!

そう…ですね
その通りです

心臓もたない

ザッ
ザッ…

命びろいしましたね…
よくぞ秀吉公の機嫌を損ねずに会見を終わらせました

だがなんだ…?
この胸のもやもやは…

自慢のずんだもち食わせてねえ!!
もう余計な事しないでえ――!!

どこまでもついて行きますよ!!
その後も政宗は虎視眈々と天下をうかがう
しかし生まれる時代が遅すぎた この男はついに天下人の座に辿り着く事は無かった――
76 独眼竜 その後

今後もよろしく

独眼竜の妻

趣味に前向き

文禄元年（一五九二年）秀吉は明・朝鮮征伐に乗り出す

伊達軍にも渡海せよとの指示が来た…
ざわ。。。

なぜ異国にまで戦に行かねばならぬのだ!!
皆 前向きに考えるんだ

まだ見ぬ食材を手に入れられると
わくわく
そう考えられるの殿だけです!!

（使い分け）

翌 天正十九年（一五九一年）
葛西・大崎地方の大規模な一揆は…
政宗!! お主の指示だな？

平定して領土を増やそうと企てたな？ 証拠の密書もあるぞ!!
お主の花押つきじゃ!!
それは偽書です

拙者の「鶺鴒」の花押には針で開けた穴があるはず
その密書に穴はありますかな？

無い!!
いつものにはあるのに…
このように政宗は危ない橋を度々渡るがその都度切り抜けている

夢よもう一度

政宗の天下取りの野望が再び動き始める

運命を悟る

病の軍師

時代も世代も変わる

さあ
参りましょう
政宗様

最終話 政宗さまと景綱くん

子も認める

声でかい

そうだったな
今は大坂攻め…
戦国最後の大戦
昔の幻なんか見てる
場合じゃなかったな…

ここで手を抜けば
徳川幕府に
伊達家取り潰しの
口実を与えてしまう!!
皆 全力で戦え!!

ははーっ!!

しかし天下取りたかったな
古狸家康め チクショー!!
殿!! 暴言でも
取り潰しに
なりますよ!!

物理的ドS

前方に敵将
後藤又兵衛隊を確認!!
よし!!
蹴散らすぞ!!

その役目
この重綱に
お任せを!!
おお!!
行ってこい!

父とは違い
この重綱には猛将の
気質があるな…

ギッタギタのボッロボロに
してやりますよ!!
フフフ…
容赦無い所は
同じだな…

次世代は安泰

景綱らしい

しかし後日 重綱は父に「将が刃を交えるとはあるまじき行為」と叱られたという

名主従だもの

しばかれそう

日ノ本一の兵

最高の人生

止めたり攻めたり

奥羽の英雄ここにあり

伊達政宗の一番血気盛んな時期を
じっくり描く事ができて満足です。

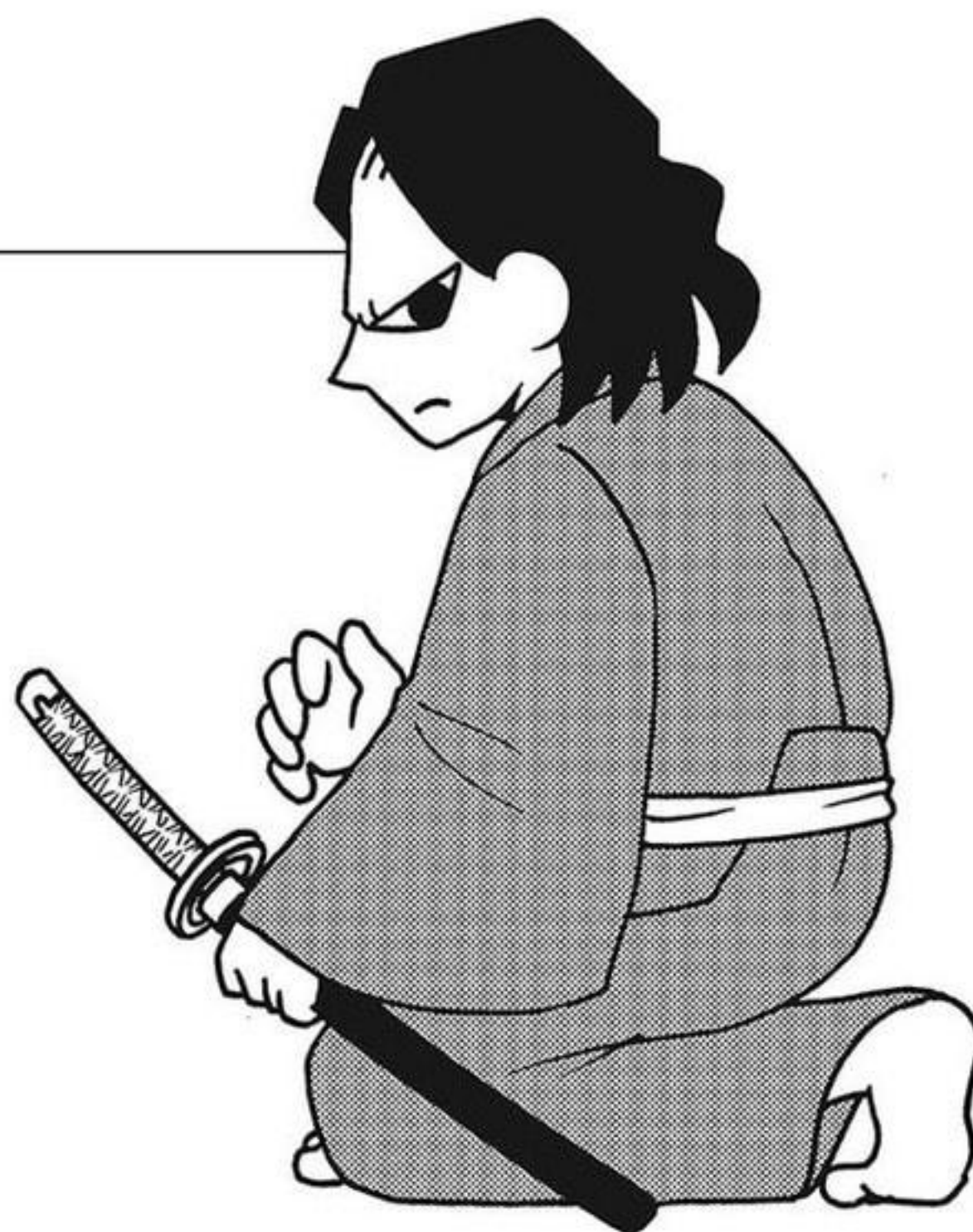
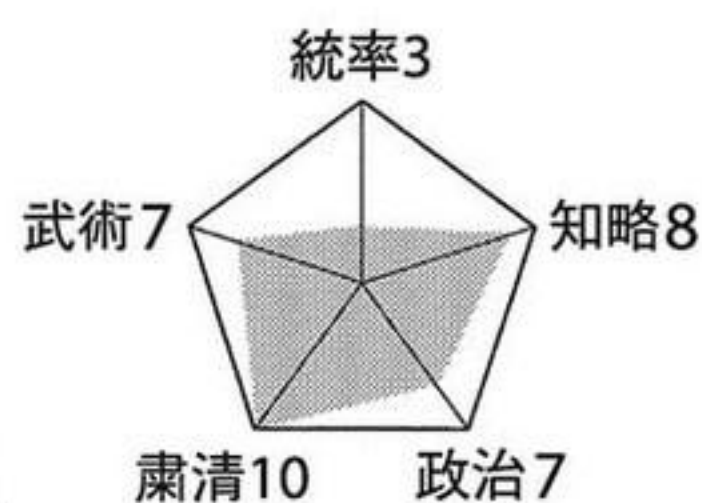
他にも戦国作品を多く描いてますが
その中でも「最高の主従」は後にも先にも
この二人だと思います。

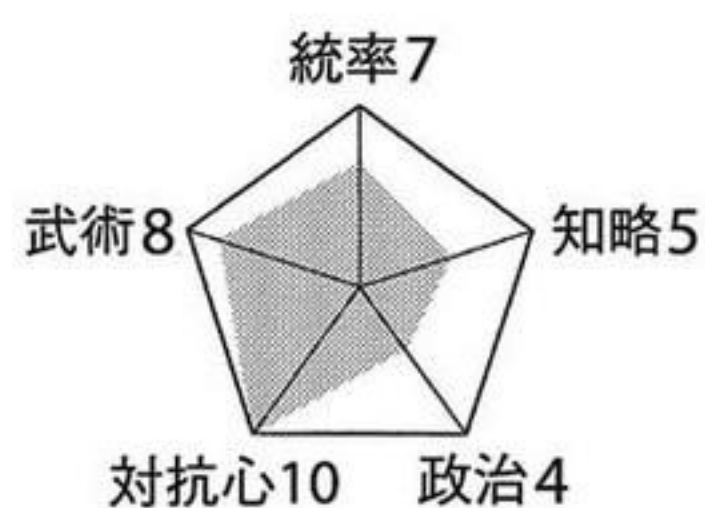
ありがとうございました。

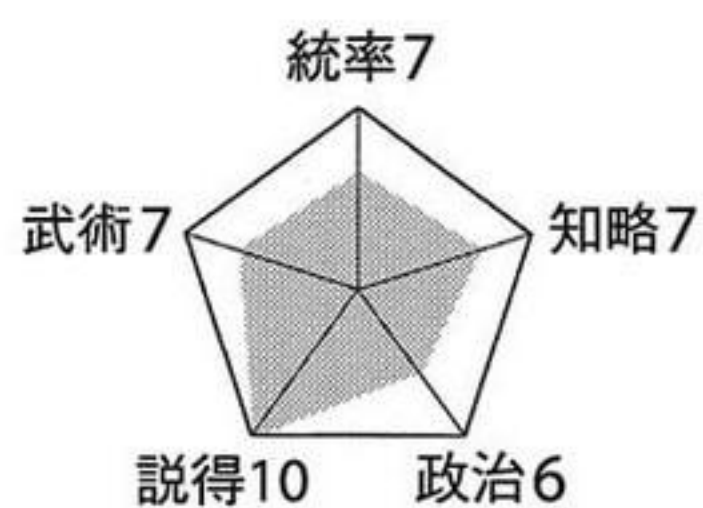
——重野なおき

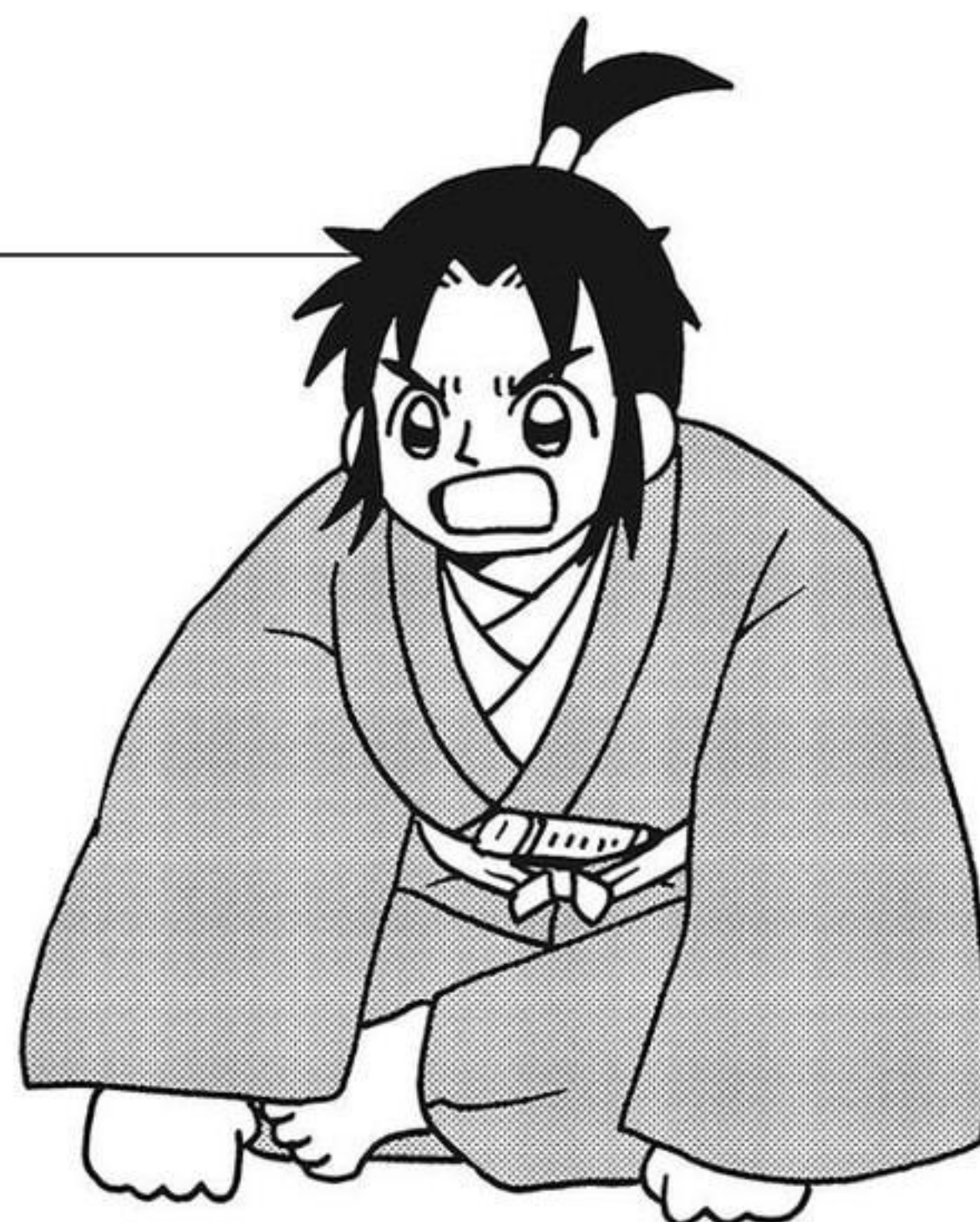
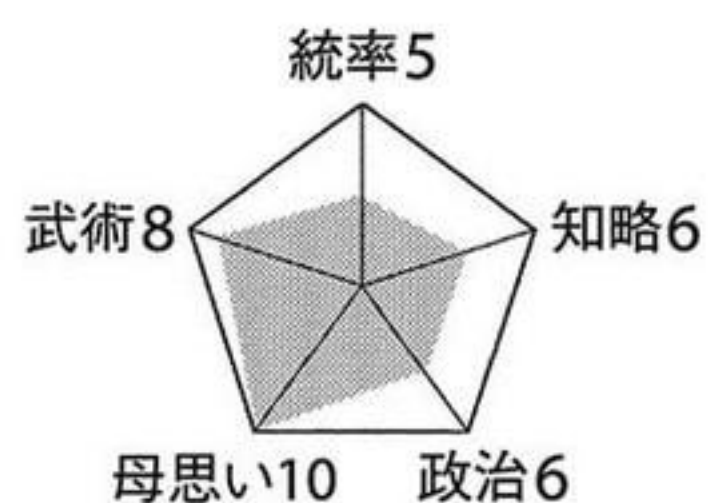
戦国武将名鑑④

屋代景頼【やしろ かげより】

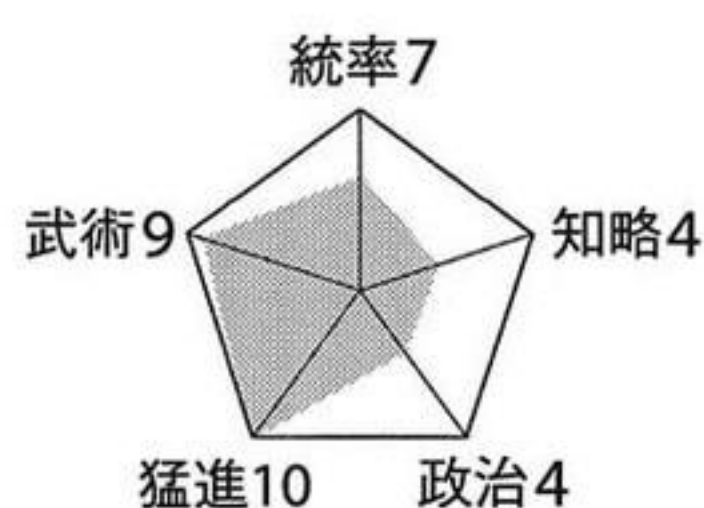
政宗の指令で数々の
粛清を実行する。

【はらだ むねとき】原田宗時

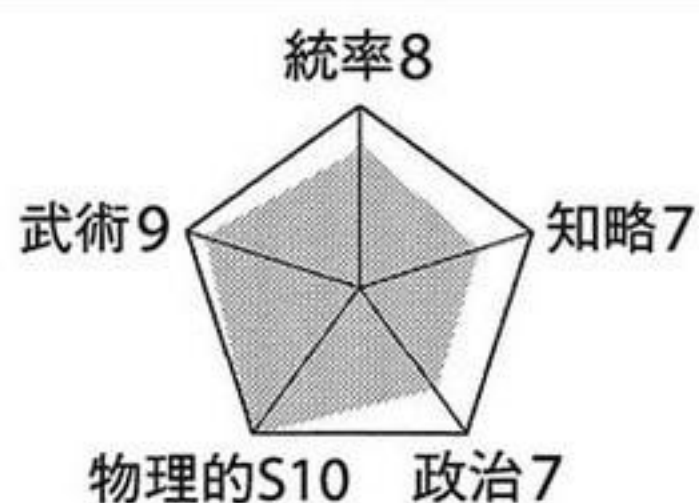
勇猛で強気。
後藤と一時対立する。

後藤信康【ごとう のぶやす】

万能の将。
原田によくからまれる。

伊達小次郎【だて こじろう】

政宗の弟。
母に溺愛され育つ。

【とみた たかざね】富田隆実

芦名家一の若き猛将。

統率7
知略4
政治4
猛進10
武術9

片倉重綱（重長）【かたくら しげつな】

父に劣らぬ名将として
「鬼の小十郎」と
称される。

全員早死あつかい

傑山寺の杉の木

何やってんだ

やりたいほうだい

しつこい火種

昨日の事のように

将軍相手に

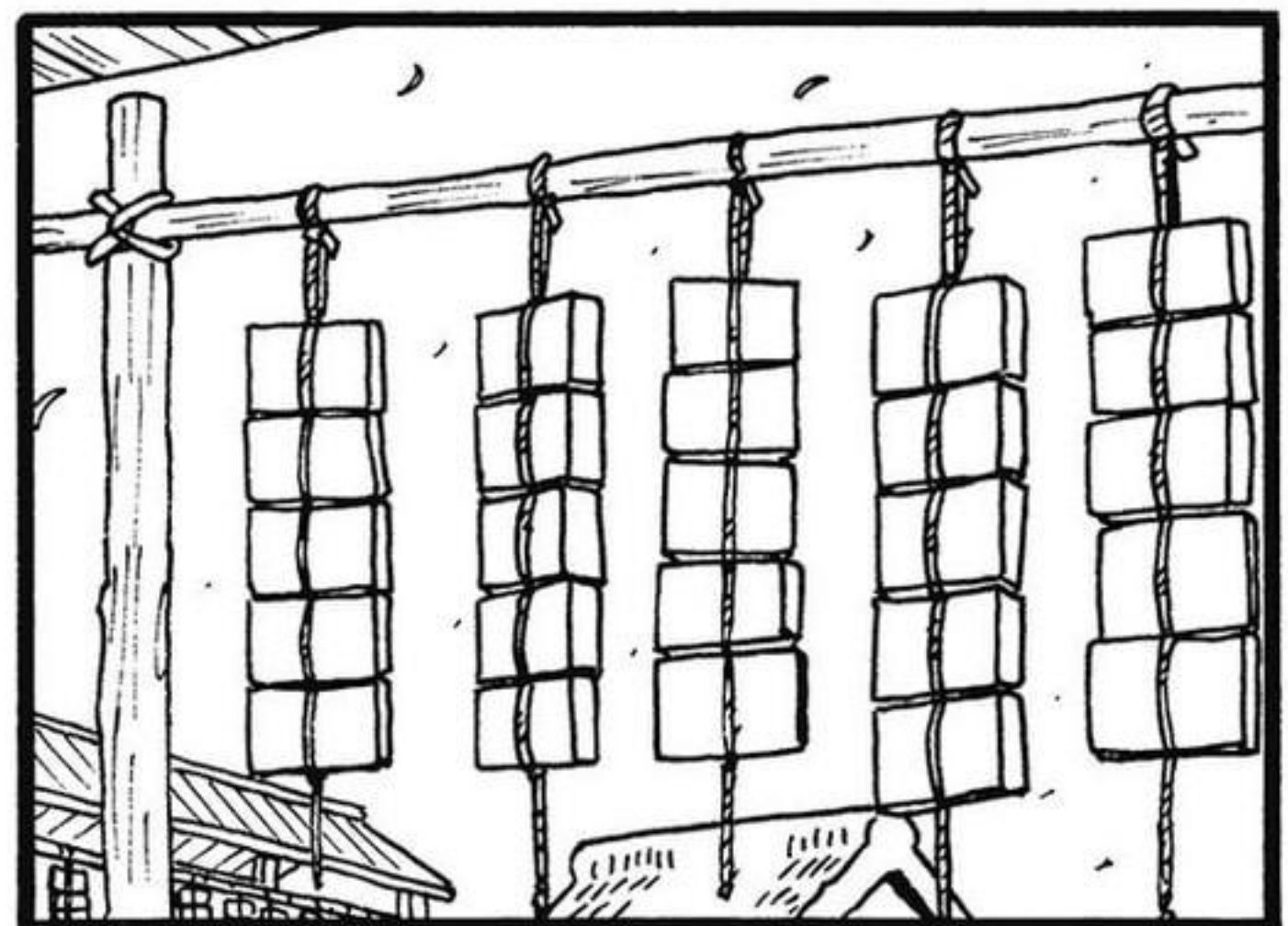
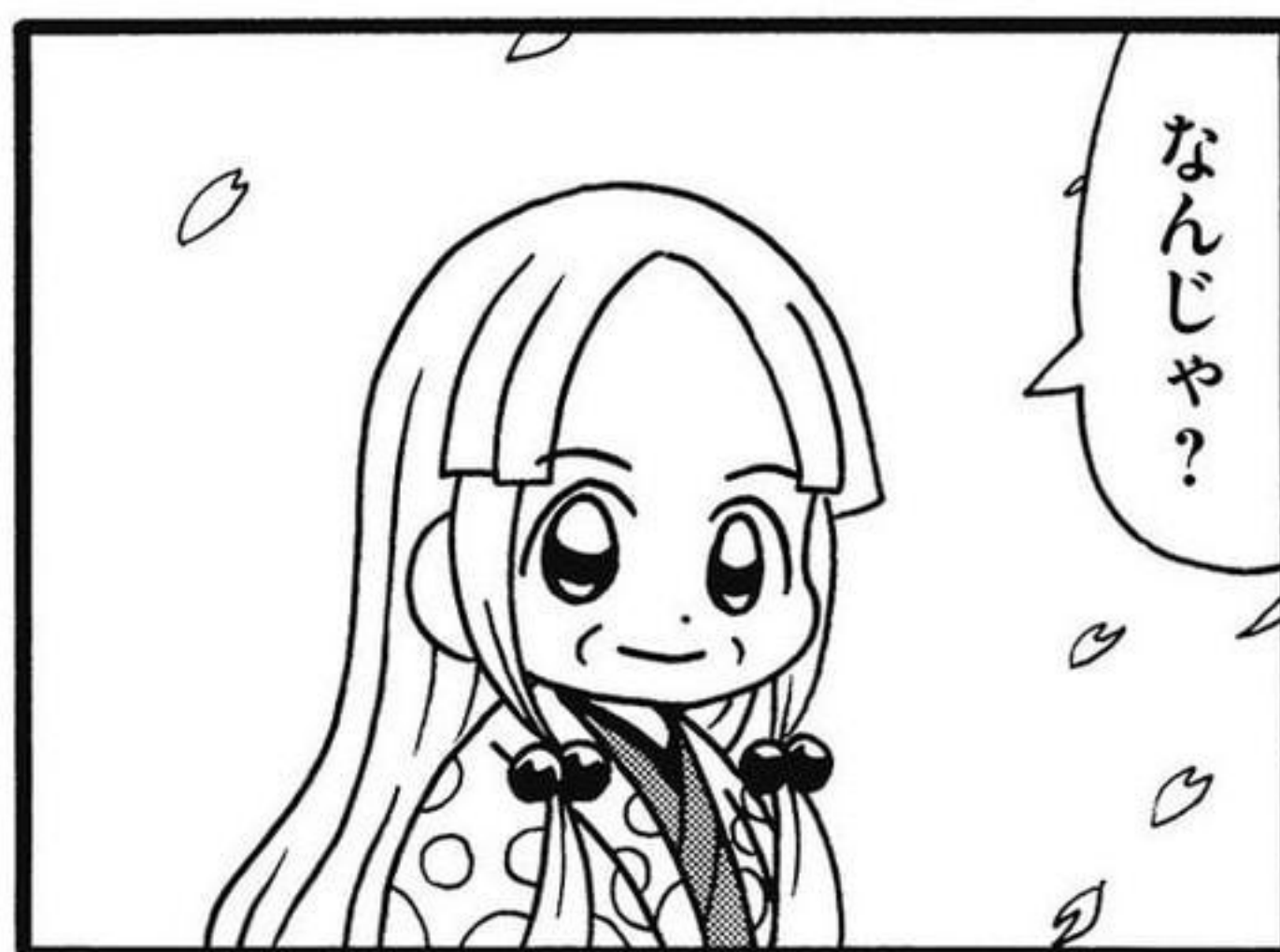
現代まで根付く

つきまとう疑惑

老いてなお暴れん坊

共に白髪の生えるまで

静かな余生

政宗さまと景綱くん◆完

傑作4コマGAG!!!!!!
斎藤道三
美濃国大名。
森可成
織田家武将。
明智光秀
織田家武将。元・斎藤家家臣。鉄砲が得意な秀才。ツッコミはもっと得意。
柴田勝家
織田家武将。
木下秀吉
織田家武将。お調子者だが一生懸命。不死身の粘り強さを持つ。あだ名はサル。
お市
信長の妹。
斎藤龍興
道三の孫。
織田信長
尾張国大名。天下布武を目指す、誰もが恐れる男。甘いもの大好き。
松永久秀
裏切りの天才。
一五五五年。
織田信長のでっかい夢に魅せられた少女が言った。
「私、信長様の忍びになります!!」
千鳥
忍び。信長の夢のために戦う。忍びの腕は一流。化け物と呼ばれる。
目指すはひとつ、
天下布武のみ!!

政宗さまと景綱くん ４

初版第一刷発行　２０２０年10月13日

著者　重野なおき
発行人　齊藤人志
発行所　株式会社リイド社
〒１６６-８５６０東京都杉並区高円寺北２-３-２
電話（編集部）０３-５３７３-７００５
（営業部）０３-５３７３-７００１
印刷所　凸版印刷株式会社
製本所　安藤製本株式会社
装丁　名和田耕平デザイン事務所

ISBN978-4-8458-5658-9

●この作品は「コミック乱ツインズ」２０１９年２月号～２０２０年８月号に掲載されたものを単行本用に再編集したものです。

●この物語はフィクションです。また、時代劇という作品の性格上、当時の表現を使用しました事をお断りいたします。

伊達政宗は
奥羽の覇権をかけて
芦名家の軍勢と
「摺上原」で相まみえる。
予期せぬ西風により
戦況は芦名軍優勢。
しかし片倉景綱らの
奮戦に呼応するかのように
東風が吹き始め――――。
一方、関白・豊臣秀吉による
天下総仕上げとなる東征が
始まろうとしていた……!!
伊達政宗と片倉景綱の青春を描いた
大河ギャグ4コマ!! 感動の最終巻!!

政宗こぼれ話

景綱は豊臣秀吉に
「活火縄(いけびなわ)」(どこでも火縄銃の
火をつけていい)権利を与えられ
徳川家康には一国一城令の
例外として白石(しろいし)城の存続を
認められるなど
時の権力者たちに愛された。

リイド社

政宗こぼれ話

政宗は温泉好きで
秋保(あきう)温泉・青根(あおね)温泉
小野川(おのがわ)温泉など
ゆかりの温泉が
いくつもある。